

ザ・ラム

ジョンR.クロス 著
イアン・マスティン 画



**子供たちを私のところにこ
させなさい、彼らの邪魔を
してはいけません。**

—イエスさまのことばです。

ザ・ラム

著者: ジョン・R・クロス

イラスト: アイアン・マスチン

翻訳・編集: 白岩正明、新美幸子

第1版

著作権所有。この本の再生には文書による著作権者、GOODSEEDからの許可が必要です。www.goodseed.comまで連絡ください。エマオへの旅のメッセージ、シルエットロゴマークはGOODSEED Internationalのトレードマークです。

聖書: 新改訳聖書第3版

著作権所有: 新改訳聖書刊行会

Copyright © 2016 by GOODSEED® International

All rights reserved. No portion of this book may be reproduced in any form without the written permission of the copyright holder. GOODSEED, www.goodseed.com, The Emmaus Road Message and silhouette logo design marks, are trademarks of GOODSEED International.

出版: Published by GOODSEED® International
P.O. Box 3704, Olds, Alberta T4H 1P5 Canada
Email: info@goodseed.com

ISBN: 978-1-927429-25-9

All Rights Reserved

201709-565-0000

クレジット

青木美津衣
ブロードス家
松江恵

白岩正明
新美幸子
小岩井家

ジャンカー家
西尾家

コーラス：豊かな命教会とあずみ野ファミリーチャペルの皆さん

コーラスディレクター：萩原ゆたか、ジャンカー奈帆

コーラス録音：柳澤 仁 (Studio Jungle)

ボーカル録音・ミキシング・マスタリング：片野 篤 (As music Link)

ナレーション：あずみ野ファミリーチャペルの皆さん

索引

この本を最善に利用するために	5
第1章 — 神さまはすべてを造られた	10
第2章 — 神さまってどんな方	34
第3章 — 悪い天使	50
第4章 — 間違った選択	66
第5章 — 誰を信じるべきか	86
第6章 — 救いのご計画	100
第7章 — 正しいこと、悪いこと	110
第8章 — 約束の救い主	124
第9章 — 私たちの完全な子羊	140
第十章 — 永遠に生きる	154
神さまの手紙の意味が分かりましたか？	172
神さまの手紙を信じますか。	174
注釈	182

この本を上手に利用する方法

すべてを合わせてみると

子供たち、家族対象にわかりやすく聖書のメッセージを伝えていきます。ある意味ではパズルのようです。一つ一つのお話しを結び合わせると、聖書がよくわかるようになっていきます。

何か新しい概念を学ぶために一番効果的な方法は土台から築きあげることです。知っていることから、知らなかったことへ。学校で数学を教える時と同じです。最初は $1 + 1 = 2$ 、と教え、そこから複雑な計算にはいります。最初の土台をスキップすると簡単な計算も複雑となってしまいます。

聖書の学びでも同じです。はっきりと土台を教え、そえから新しい概念を学んでいきます。急がないでください。はっきりと土台を整えてください。そうでないとすべてが失敗に終わってしまいます。

時間を計画的に

この本は10章からなっています。一回に1章、1週間に3章というように、すすまれることをお勧めします。1章を一回以上にわけてしまうと、子供たちの思いの中に大切さと流れが伝わらなくなってしまいます。

前もっての準備はいりません。復習からスタートします。最後に質問の箇所もいれました。1章の読書、考える時間は10分から15分程度です。

学びを単純にする

ストーリーを単純にするために、旧約の中での教えては2人の人、アダムとエバを中心にすすめています。多くの聖書の偉人を紹介すると子供たちに複雑な思いをあたえたと考えたからです。

CDを使う

同封のCDはジョン・クロスさんとヘザー・フォールドワースさんによるナレーションです。各章の終わりに章をまとめた歌があります。歌が終わりましたらクイズをしてください。質問の答えは176-180ページにあります

質問の取り扱いかた

・子供たちはクイズが大好きです。ある子供たちは最後に質問をするのが好きかもしれませんが、ある人たちはさらに別の質問もあることでしょうか。終わりの所にこのような場合の助けとなる情報があります。

子供たちの回答がいつも正しいので、質問はやめてしまおうかと誘惑されるかもしれませんが、しかし、復習は大切です。正しい回答は子供たちがちゃんと理解したという証拠です。

メッセージ

この本は聖書の中心のメッセージを薄めることなく、複雑な問題も避けずに提供しています。罪と死の問題も正直に、真正面に取り扱っています。同時に子供たちがわからないまままでいることのないようにしています。死の問題も必ず希望で終わることを教えています。

聖書は明確に問題を伝え、解決しています。ですから曖昧さで終わることのないように努力をいたしました。聖書で選択を迫る時には、明確に選択を求めています。そのため、メッセージを犠牲にするようなことはいっさいしていません。人類全体を総称としてさすために「人間」という伝統的なことばを用い、明確にしました。

カルバーズの友達へ



ザ・ラム

第1章

神さまはすべてを造られた

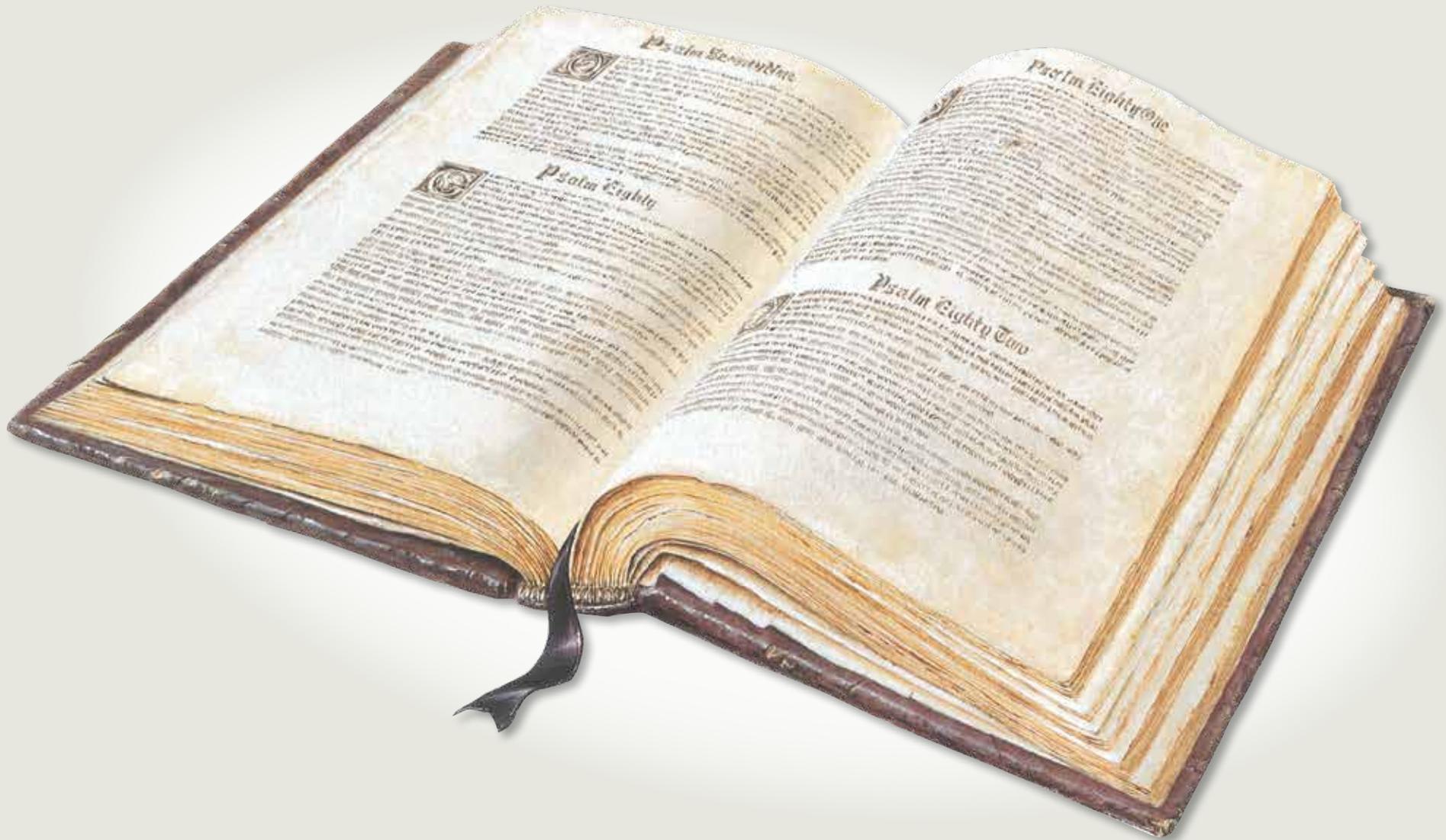
聖書は神さまから私たち一人一人への、とても大切な手紙¹です。「本当なの？」って思うかもしれませんがね。もちろん本当のことです。「神さまはあなたにとってもすてきな手紙を送ってくださいました」と、聖書に書いてあります。

この手紙が書かれたのはずっとずっと昔のことですが、今読んでもやっぱり大切なことがたくさん書かれています。

すべての子どもたちが、この手紙、聖書に何が書かれているのかを知らなくてはならないのです。

全体が神さまの靈感によってかかれた聖書は…。 2テモテ3:16

…聖書にある預言者のことばは、預言者がかかってに考え出したものではないからです。それは、
…人間を通して示された、混じりけのない神さまからのことばなのです。 2ペテロ1:20,21



Psalm LXXVII

Psalm LXXVIII

Psalm LXXIX

Psalm LXXX

第1章

聖書の最初を読むと、神さまはだれからも生まれず、そしてずっと死ぬことはない、と書いてあります。² 始まりも終わりもない、ということです。神さまは最初から生きておられ、そしてこれからもずっとずっと生きつづけるということです。

世界の最初にいたのは神さまお一人だけだった、とも書いてあります。そのときには花も動物たちも、人間も、だれもいませんでした。まだ地面もなく、月も太陽もありませんでした。

世界の始まりには、この本当の神さまのほかには、何もなく、だれも、いませんでした。



大地が造られ、山が生まれる前から、あなたは神であられました。あなたには初めも終わりもないのです。 詩篇90:2

わたしは主だ。わたしのほかに神はいない。 イザヤ45:5

わたしのほかに神はいない。今までも、またこれからも。 イザヤ43:10

第1章

聖書には、この神さまが世界の全部を創造された、つまり造られた、と書いてあります。目に見えるもの、目に見えないものも、です。

神さまが最初に造ったのは、天使たちでした。神さまを見ることができないのと同じように、天使たちも目には見えませんね。目には見えない天使や神さまは、霊、とよばれます。人間と同じような存在ですが、³骨や筋肉でできた体を持っていません。

天使たちは神さまのお使いをするために造られました。神さまから頼まれたことをするのが天使たちの仕事です。

神さまが造られた世界を見て、天使たちは「神さまって素晴らしい」と声を合わせて歌いました。

神さまは霊なるお方だから…。ヨハネ4:24

御使いは、救われる人々を助け、守るために遣(つか)わされた、霊の使者…ヘブル1:14

神さまの命令を一つとして聞きもらさず、すぐ実行に移す御使(みつか)いたちよ、神さまをほめたたえなさい。四六時中、神さまに仕える天使の軍団よ、ほめたたえなさい。詩篇103:20,21

第1章

聖書を読むと、神さまがこの世界を創造されたとき、神さまはとても特別な方法で造られたと書いてあります。私たちが工作するとき、はさみや鉛筆や紙がいりますよね。木を使ったり、釘やのりを使うこともあります。ペンチや金づちも使ったりするでしょう。

でも、聖書を読むと、神さまは道具を何も使わないでこの世界を造られたと書いてあります。神さまは、言葉だけで、この世界を造られたのです！



…この世界と天体のすべてが神さまのことばによって造られ… ヘブル11:3

あの星をちりばめた天空も、神さまのひと言で造られました。全世界の人は、
老いも若きも、男も女も、恐れかしてみながら神さまの前に立ちなさい。

神さまのおことば一つで、この世界は始まったからです。 詩篇33:6,8,9



第1章

「光あれ！」と神さまが一言おっしゃったとき、どんなことが起こったと思いますか？そう。その一言で、まっくらやみの中から、突然光がうまれたのです。

それだけではありません。この世界のすべてが、神さまの口から出る一つひとつの言葉で造られた、と聖書に書かれています。神さまは、本当になんでもできる力を持っておられるのです。



「光よ、輝け」と神さまが命じました。 創世記1:3

神さま。あなたのような神はほかにいません。神さまは偉大な方で、御名(みな)には力があふれています。 エレミヤ10:6

ああ神さま。神さまは大きな力をもって天と地をお造りになりました。神さまにとって、難しいことは何一つありません。 エレミヤ32:17



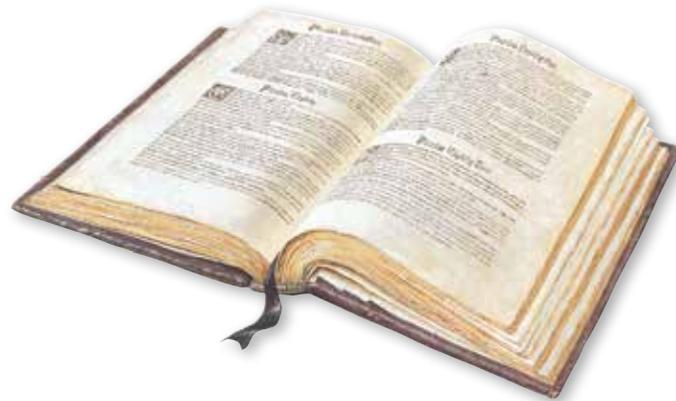
1/2017

第1章

聖書には、神さまは太陽と月と星を造られた、とあります。神さまは大空のそれぞれの場所に、この星たちを置かれました。神さまが置きたい位置に、一つずつ。神さまは、いつでもどこにでもいることができるからです。

神さまがどこにでもおられるというのは、とってもうれしいことですね。だって神さまは私たちがどこにいてもちゃんとそばにいてくださるということですし、その同じ時間に、遠くにいる家族や友だちのそばにもちゃんといてくださる、ということですから。

神さまって本当に大きくてすごい方なんですね。



こうして、地を照らす太陽と月ができました。太陽は月よりも大きく明るいので昼を、月は夜を受け持ちます。この二つのほかにも、無数の星が造られました。 創世記1:16
人はわたしから姿を隠せるだろうか。わたしは、天にも地にも、どこにでもいるではないか。 エレミヤ23:24



第1章

聖書には、神さまがこの世界をたった6日で造られたと書いてあります。神さまだからできたことです。私たちの食べ物も、息をする空気も、飲み水も造られました。川や海や山も造られました。神さまは木も花も全部造られたのです。

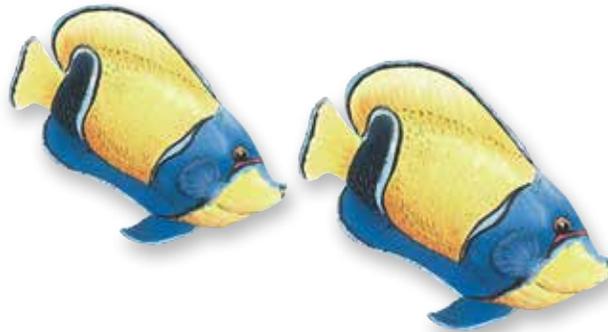
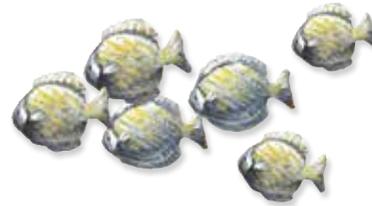
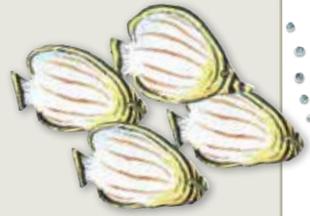


まだ何も無い時、神さまは天と地をお造りになりました。 創世記1:1
わたしが六日の間に天と地と海と、その中のいっさいのものを造り…。 出エジプト記20:11



第1章

神さまは海で泳いでいる魚を造られました。小さい魚
やくじら、カニやタツノオトシゴも造られました。



神さまは、海に住む大きな哺乳動物をはじめ、あらゆる種類の魚…
を造りました。みなすばらしいものばかりです。創世記1:21





第1章

神さまは空を飛ぶ鳥も造られました。大きい鳥、
小さい鳥、全部の鳥を造られました。



神さまは、…種類にしたがって、…翼のあるすべての鳥を…
創りました。みなすばらしいものばかりです。 創世記1:21 (新改訳、リビングバイブル)

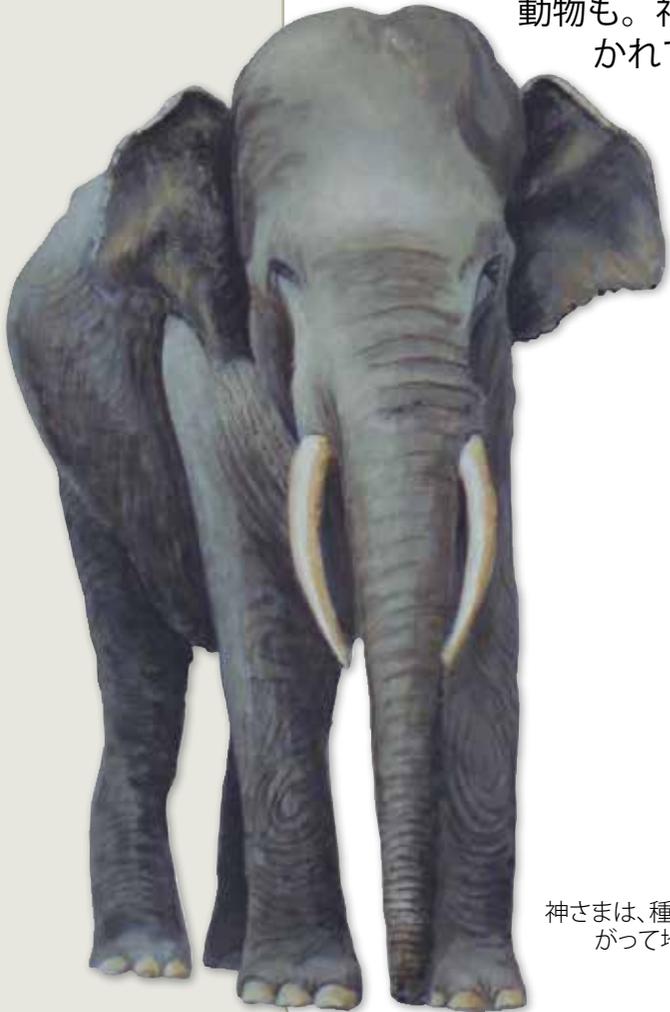




第1章

神さまは動物たちも造られました。走る動物、地をはう動物、歩く動物、ぴよんぴよん跳ねる動物。

小さい動物も大きい動物も、足の速い動物も遅い動物も。神さまが全部の動物たちを造ったと聖書に書かれています。



神さまは、種類にしたがって野の獣を、種類にしたがって家畜を、種類にしたがって地のすべてのはうものを造られました。 創世記1:25 (新改訳)





第1章

そしていちばん最後に、神さまは男と女とを造られました。神さまはアダムとエバを愛し、大切にしてくださいました。神さまはアダムとエバのために素晴らしい庭を造ってくださいました。そこは木や動物やたくさんの花であふれていて、二人は楽しく暮らしていました。

神さまがアダムとエバのところに来られると、三人はこの素敵な庭と一緒に散歩しました。とても仲のよい友だちだったからです。みなさん、想像ができますか？世界を造った方と、話したり散歩したりできるのですよ。

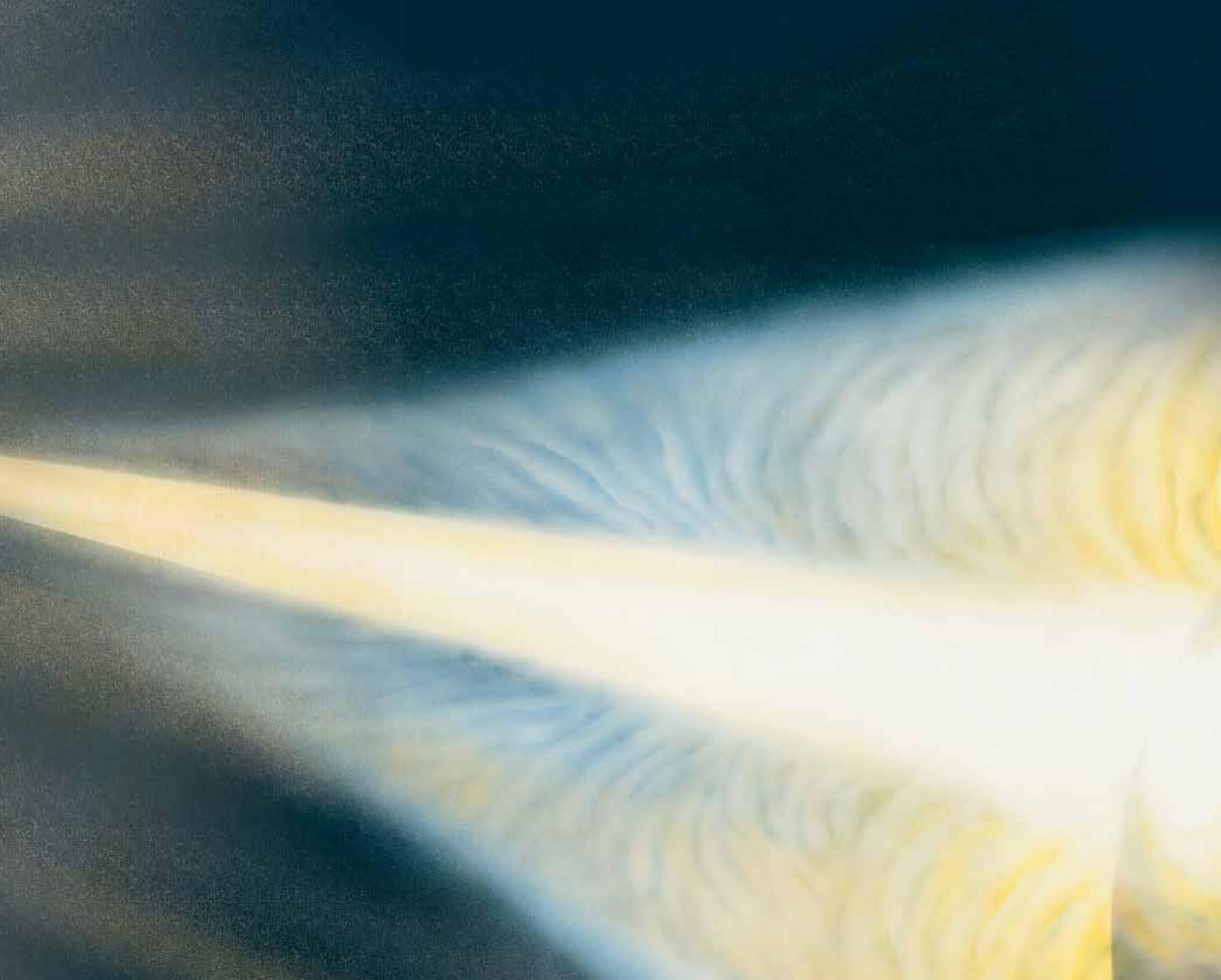
一体どんなお話をしたのでしょうね？

…神さまが…地のちりて体を創り上げ、それにいのちの息を吹き込んだのです。
そこで人は、生きた人格をもつ者となりました。 創世記2:7



1章の質問

1. 聖書は私たちに送られたとても大切な手紙です。この手紙を書いたのは誰ですか？
2. 聖書を読むと、神さまは誰からも何からも生まれなかったと書いてあります。では、神さまはいつか死ぬでしょうか？
3. 世界の一番最初、誰か神さまと一緒にいましたか？
4. 誰が天使たちを創造されましたか？
5. 創造、ということばの意味は何でしょうか？
6. 私たちは神さまや天使たちのすがたを見ることはできません。目で見ることができない神さまや天使たちのすがたを何と呼びますか？
7. 天使たちの特別な仕事は何ですか？
8. 私たちは何かを作るとき、金づちや釘を使います。では神さまはこの世界をどうやって造られたのでしょうか？
9. 神さまはことばだけでこの世界のすべてを造られました。そのことから神さまがどういう方であるか分かりますか？
10. 神さまはこの世界を何日間で造られましたか？
11. アダムとエバを造ったのは誰でしょうか？
12. 神さまはいつもあなたのそばにおられるし、その同じ時間にずっと離れたところにいるあなたの家族や友達のそばにもおられます。どうして神さまはそういうことができるのでしょうか？



第2章

神さまってどんな方

神さまがこの世界のすべてを造られたということがわかりました。神さまは何でもできる力を持っておられる方でしたね。そういう神さまだからこそ、私たちが住んでいるこの地球を造ることができたのです。

また神さまはいつでもどこでも私たちと一緒にいてくださると聖書に書いてあります。

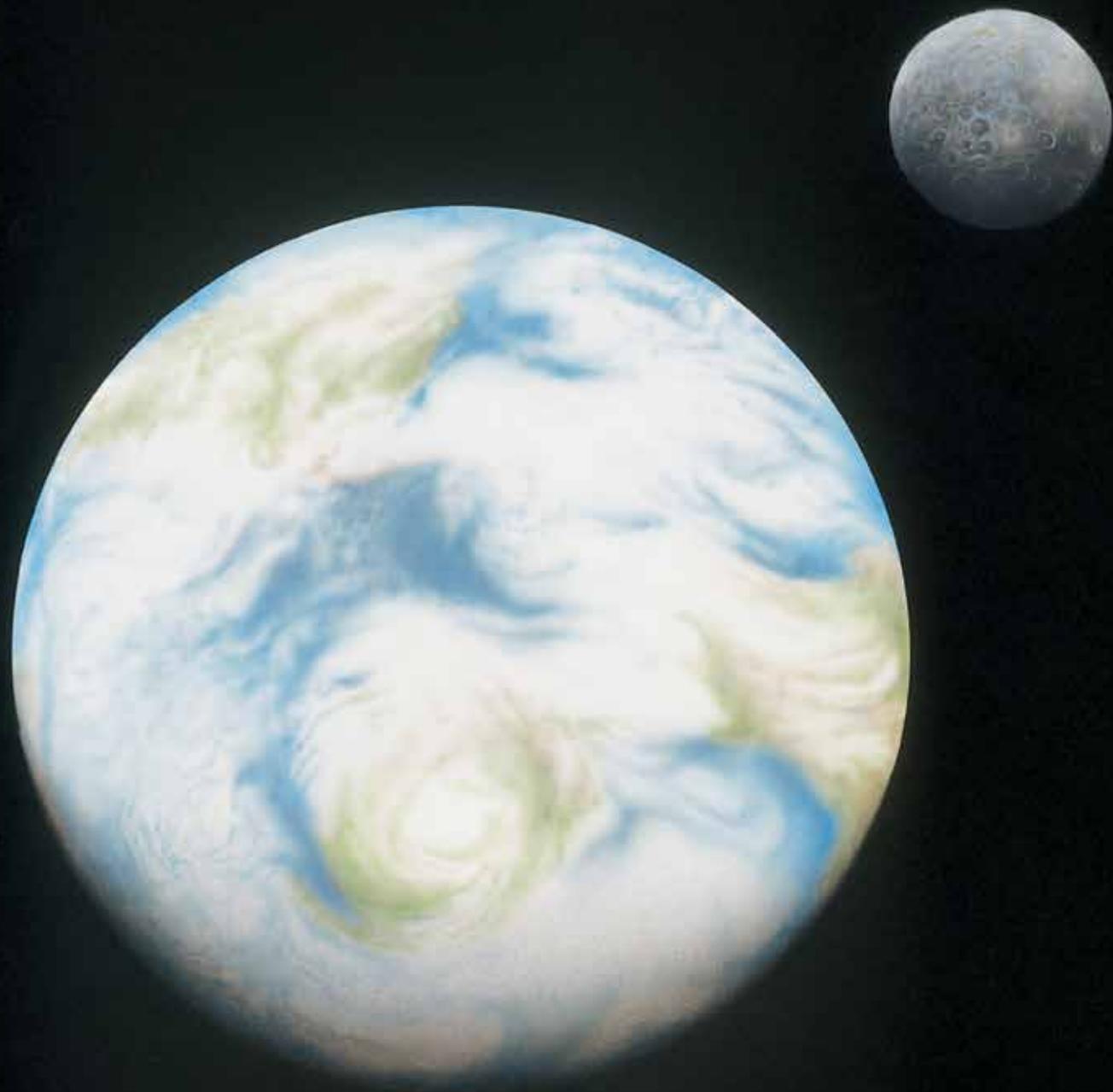
神さまには知らない事など一つもありません。私たちが心の中でふと思う事でも、神さまは知っておられるのです。



偉大な神さまのお力は限りなく、その知恵は底なしです。 詩篇147:5

神さまは力と知恵をもって地をお造りになりました。すぐれた知性をもって天を張り広げました。 エレミヤ51:15

このわたしは一個箇所だけに閉じ込められていて、彼のしていることが見えないような神だろうか。
人はわたしから姿を隠せるだろうか。わたしは、天にも地にも、どこにでもいるではないか。 エレミヤ23:23,24





第2章

この世界を造られたのが神さまだから、この世界は神さまのものです。

もしあなたが紙や木や布で何かを作ったら、それはあなたのものです。あなたが作ったものだからです。神さまもそうです。神さまが造られたものはすべて神さまのものになるのです。すべてを持っておられる神さまを「主」と呼びます。この言葉の意味は「王さま」、とか「主人」という意味です。

神さまはすべてを造り、すべてを持っておられる主なのです。



全地は神さまのものです!世界中のものがすべて神さまの持ち物です! 詩篇24:1
主が神であるとはどんなことか、^{はだ}肌で感じ取りなさい。主は私たちをお造りになりました。 詩篇100:3
神さまは、人をエデンの園の番人にし、その管理を任せました。 創世記2:15



Bird house

第2章

聖書を読むと、神さまはとても優しい良い方だと書いてあります。

あなたの周りにある、神さまの造られたたくさんの美しいものを見てください。たとえば神さまは、すべての花を白色と黒色だけで造ることもできたはずですが、しかし神さまは美しい色とりどりの花びらを持つ、たくさんの花を造られました。また食べ物もそうです。神さまが造ろうと思えばとてもまずい食べ物も造ることができたでしょう。しかし神さまは良い匂いのする美味しい食べ物をたくさん造ってくださいました。すべての果物や花たち、毛虫や蝶、そしていろいろな色と音…。神さまが造ってくださったいろいろなものを私たちは楽しむことができます。

この素晴らしいものを、神さまは私たち人間のために造ってくださいました。

神さまは私たち人間を愛してくださっているからです。

わたしはこの手ですべてのものを造った。わたし一人で、天を引き伸ばし、…すべてのものを造った。 イザヤ44:24
…必要なものをいっさい備えて、私たちの人生を楽しませてくださる生ける神さま… 1テモテ6:17





第2章

神さまは正しい方法ですべてを造ってくださったと聖書に書いてあります。

もし太陽がお昼の12時に昇ってきたり、3日に一回しか昇らなかつたりしたら、どうなると思いますか？一体何時間ベッドにいななければならないでしょうね！神さまは太陽にも、きちんと順序を作られました。朝昇って、夕方沈む、という順序です。この順序は変わることがありません。毎日同じように繰り返されるのです。神さまはこの世界のすべてのものが上手に正しく動くように、すべての順序をきちんと作られたのです。

神さまの作られた順序によって世界は正しく動いているのです。

神さまは、一か月の長さを知るために月を掲げ、一日を区切る目じるしとして太陽を照らされました。 詩篇104:19

昼も夜も神さまの支配下にあります。神さまは星と太陽をお造りになったお方です。

…あなたは地のすべての境を定め…。 詩篇74:16-17(17節:新改訳)



第2章

神さまは私たちが幸せに暮らす事ができるように、いくつかのルールを作ってくださいました。

私たちはあまり決まりが好きではありません。しかし、もしこの世界に決まりが一つもなかったら…と考えるみてください。道路に信号機がなかったらどうでしょう。「止まれ」も「注意」もなく、またスピードの決まりもなかったら、いつ横断歩道を渡っていいのか分かりません。運転する人も歩く人も、みんなどうしたらいいか分からなくなって、怒り出すでしょう。

神さまは私たちにとって何が一番良いことか、知っておられます。神さまは私たち人間が安心して幸せに生きるためには、きちんとした決まりが必要だということを知っておられるのです。

イエスさまは他のすべてのものに先立って存在し、すべてのものは、
イエスさまによって成り立っています。 コロサイ1:17



第2章

神さまが造られたものは、すべて完全です。⁴ 完全、という言葉の意味は、一つも間違いはないということです。すべてが最高という意味です。完全な神さまだからこそ、完全な世界を造ることができました。

神さまのなさることには、失敗や間違いは絶対がないのです。



神さまはでき上がった世界を隅^{すみ}から隅まで見渡しましたが、どこから見ても非の打ちどころがありません。
創世記1:31

声の限りに、偉大な神さまをたたえましょう。神さまの偉大さは、一生かけても弱^{きわ}めることができません。
詩篇145:3



第2章

神さまの住んでおられるところは天国といって、最高の場所です。聖書を読むと天国はとてもきれいな場所だと書いてあります。たくさんの木に囲まれ、川の流れる美しく素晴らしい町があると書いてあります。その町の建物は崩れているところは一つもなく、いつまでも新しいままです。そして驚くことに、この町の道路はすべて金でできているそうです。

天国では病気がありません。人が死ぬことも、また悲しいこともありません。雑草が生えていないので、とげのある草やイバラで手を怪我することもありません。その町には悪い人は一人もいません。みんないつもとても幸せです。また天国には美しい音楽がずっと流れています。動物たちもおとなしくてすぐに仲良しになれます。天国では毎晩寝る必要もありません。暗闇も夜もなく、いつも昼間のように明るいです。

天国には何一つ足りないものはありません。完全なのです。完全な人々が住み、完全な天使たちが完全な神さまに仕えています。あまりに素晴らしいので、うまく説明できないくらいです。

天国がどんなところか、ちょっとのぞいて見たいですね。みなさんはどんなところだと思いますか？

[神さまは] その目から涙をぬぐってくださいなのです。もはや、死も悲しみも叫びも苦痛もありません。 黙示録21:4

普通の人々が、これまで見聞きしたことも、想像したこともないほど素晴らしいことを、
神さまは…用意して下さった。 1コリント2:9



2章の質問

1. 神さまが造られたこの世界を見回すと、神さまは何でもおできになる方だと分かります。では、神さまはいろんなことについてどの位知っているのでしょうか？
2. この世界は誰のものですか？
3. どうしてこの世界が神さまのものだといえるのでしょうか？
4. 神さまはこの世界をきたなく造ることもできましたが、神さまはとても美しく造ってくださいました。それはどうしてだと思えますか？
5. 神さまは世界のすべてのものがきちんと正しく働くように、ルールを造られました。もしルールがなかったら世界中いろんなところで、どんなことが起こるのでしょうか？



- 
6. 間違ったところや足りないところが何もなく、すべてが素晴らしい、ということは何と云うでしょうか？
 7. なぜ、神さまは完全な世界を造ることができたのでしょうか？
 8. 神さまは完全なところに住んでおられます。そこは何と云うところでしょうか？
 9. 聖書には天国がどんなところか書いてあります。その中で3つ、教えてください。

第3章

悪い天使たち

聖書に書かれているのは、神さまはとても力のある方だということです。すべてのことを知っておられますし、ただ一言の言葉だけでこの世界のすべてを完全に造られたのです。

また神さまは、すべての物がきちんと正しく働くように、決まりを造られました。太陽が毎日きちんと昇ったり沈んだりするから、私たちは起きる時間や寝る時間を知ることが出来ますね。どうすれば私たちが幸せになれるのか、神さまはその決まりも与えてくださいました。

神さまは美しいこと、清いこと、そして平和を愛されます。なぜなら神さまが美しく清く、平和な方だからです。天国は完全なところですが、それは神さまご自身が完全だからです。そして神さまはこの世の中のすべてのものが美しく、清く、平和で完全であるようにと望んでおられます。

神さまはでき上がった世界を隅から隅まで見渡しましたが、どこから見ても非の打ちどころがありません。
こうして六日目も終わりました。 創世記1:31



第3章

神さまがこの世界のすべてを造られた後のことです。大変なことが起こりました。

天使の中でも一番位の高い一人の天使がいました。彼は天使の仕事を喜んではいることができなくなってきました。その天使の名前はルシファーといいます。神さまはとても大切な仕事を任せるためにルシファーを造られたのですが、ルシファーは物足りなくなったのです。

ルシファーはもう天使のままにいるのはいやだ、と思いました。神さまの決まりも従わない、と決めました。そして自分勝手に自分のための決まりを造りました。ルシファーはすっかり変わってしまいました。世界で一番偉いのは自分だ、と言い出したのです。つまりルシファーは神さまになろうと決意したのです。

ルシファーは神さまと戦おうと他のたくさんの天使たちを誘いました。そしてルシファーと彼に従った天使たちは神さまを憎み、すべてを破壊してやろうとしたのです。

あかつき
暁の子、ルシファーよ、…あなたは心の中で言った。「天にのぼり、最高の王座について、御使(みつか)いたちを支配してやろう。北の果てにある集会の山で議長になりたい。一番上の天にのぼって、全能の神さまのようになってやろう。」 イザヤ14:12-14(新改訳、リビングバイブル)



第3章

ルシファーたちが神さまに背き、悪を行う天使となったことを、聖書ではなんと呼んでいるでしょうか。それは、「罪」です。

罪というのは、神さまの完全な世界、決まりに背くという意味です

私たち人間が悪い考えや良くない行動をするのはどうしてでしょうか。それは、神さまよりも自分のほうが偉いのだ、と考えているからです。神さまよりも自分のほうが何でも出来ると考えること、それがつまり「罪」なのです。

罪は、いつもすべてのことを、台無しにしてしまうのです。

おまえは自分の美しさを鼻にかけ、思い上がっていた。栄華のために、自分の知恵を台なしにしてしまった。
エゼキエル28:17

神さまのきれいなものが六つ、いいえ七つあります。なまいきな態度…。 箴言6:16-17



第3章

もし誰か悪いことをしてしまった人がいるとしましょう。その人は自分がしてしまったことから逃げることは出来ません。罰を受けなければならないのです。それは当たり前のことです。つまりそれが公平だ、ということです。

反対に、もし、ものすごく悪いことをしても、まったく罰を受けない人がいたらどうでしょう。それは公平ではありません。もしそれが許されてしまったら、みんな意地の悪い欲張りになってしまうでしょう。神さまはそういうことを嫌われます。神さまはどんな小さな悪いことにでも、それにふさわしい罰をお与えになります。神さまの与えられる罰は厳しすぎることも、甘すぎることもありません。

神さまはいつも公平なお方です。



岩のように堅く、なさることはみな、完全で正しく、何事にも公平で忠実なお方。神さまはいつも完全に潔白だ。
申命記32:4

神さまは私たちのすることは何でも、人目につかないものでも、善でも悪でも、みなさばかれるのです。
伝道者の書12:14

神さまの王座を支えているのは、公平と正義の太い二本の柱です。 詩篇89:14



第3章

神さまは完全なお方ですから、悪い天使たちと一緒に、天国で暮らすことは出来ません。

そこで悪い天使たちは天国から追い出されてしまいました。神さまは悪い天使たちを一人残らず天国から追い出し、二度と戻って来ないようにと命じられました。⁵ その時神さまはルシファアの名前を「サタン」と変えました。それは「敵」ということです。

サタンは今や、神さまの敵となってしまったのです。

「…おまえは罪を犯したのだ。そこでわたしは、普通の罪人^{つみびと}と同じように、おまえを神の山から追い出した。
ああ、すぐれたケルブよ。わたしはおまえを…地面にたたき伏せ…。」 エゼキエル28:16-17

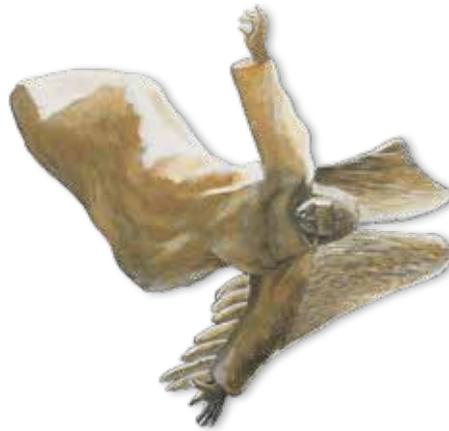




第3章

神さまはサタンと悪い天使たちのために、一つの場所をお造りになりました。そこは彼らにとってもふさわしい場所でした。邪悪で恐ろしい天使たちのための、邪悪で恐ろしい場所です。いつも憎憎しげに荒れ狂っている天使たちにふさわしい、憎憎しく荒れ狂っているような場所です。この恐ろしい場所は「燃える火の池」と呼ばれました。

ここに落ちた者は永遠にそこから出ることはできません。サタンと彼に従った悪い天使たちが受ける罰としてつくられた場所なのです。⁶



その後、人々をだましていた悪魔は、獣や偽預言者と同じく、^{いおう}硫黄の燃える火の池へ投げ込まれます。そこで、昼も夜も、永遠に苦しむのです。黙示録20:10
悪魔とその手下の悪霊どものために用意されている、永遠に燃え続ける火…。マタイ25:41



第3章

たくさんの天使たちがサタンにそそのかされ神さまにそむきました。しかし、もっとたくさんの天使たちが神さまに従いました。彼らは今も天国で神さまのそばで仕えています。

神さまのお手伝いって、どんなお仕事でしょうか？
みなさんはどう思いますか？



御使いは、救われる人々を助け、守るために遣わされた…。ヘブル1:14



3章の質問

1. 神さまが造られた天使たちの中で、一番位の高かった天使の名前は何でしょうか。
2. 神さまはルシファーに、特別な仕事を与えておられましたか？
3. ルシファーは神さまから頼まれた仕事を喜んでしていましたか？
4. ルシファーはどうなりたと思ったのでしょうか？
5. ルシファーは神さまのルールを守らず、自分勝手に生きたいと決めました。聖書では、そのことを何と呼んでいますか？
6. どうしてルシファーは神さまのようになりたいと思ったのですか？
7. 悪い考えや、悪い行いはすべてなんと呼ばれますか？
8. もし誰かが何か悪いことをしても、そのまま逃げてしまえばそれで済むと思いますか？
9. 悪いことをしてそのまま逃げてしまうのは、どうしていけないのでしょうか？
10. 神さまはいつも公平ですか？それとも時々不公平なときがありますか？
11. 神さまは完全な方ですから、悪いことをした天使たちと一緒にいることはできません。そこで神さまは悪い天使たちをどうなさいましたか？
12. 神さまはルシファーの名前をサタンという名前に変えました。それはどういう意味ですか？
13. 神さまはサタンと彼に従った悪い天使たちのために一つの場所を造りました。そこは何と呼ばれる場所ですか？
14. サタンたちのいる場所は良いところですか？
15. 神さまに従ったたくさんの良い天使たちが住んでいる場所はどこですか？



第4章

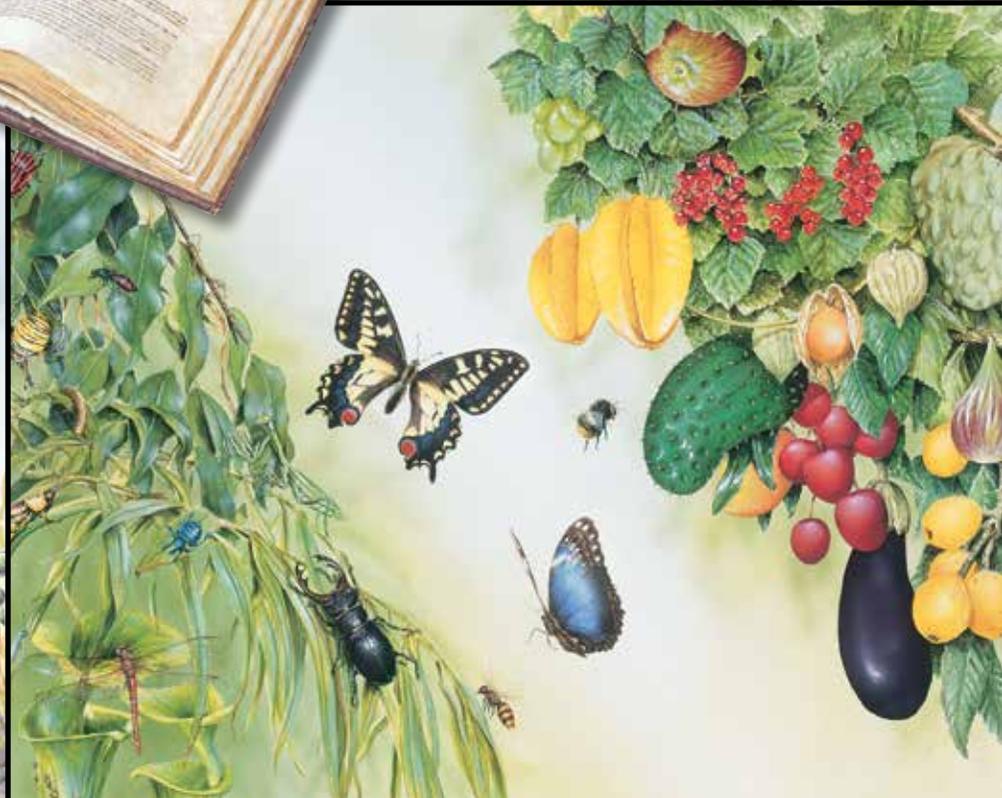
間違った選択

神さまがこの世界を造られたとき、そこはまるで天国のように素晴らしい場所でした。恐れも悲しみも苦しみもない、また意地の悪い人も悪いことをする人もいませんでした。泥棒も、うそつきも、人殺しも、そのほかどんな罪もない世界で、そこにいる動物は死ぬことさえありませんでした。

神さまが造られた世界は喜びであふれ、すべて神さまの望まれた素晴らしいところでした。

そこは完全な世界だったのです。

天を仰いでみなさい。星は、いったいだれが造ったのですか。羊飼いは群れを導き、それぞれの愛称で呼び、一匹でもいなくなってしまうかと数えます。同じように神さまも、星をぜんぶ数えます。…全世界を造った永遠の神様…。 イザヤ40:26,28



第4章

神さまが造られた人間もまた、完全でした。完全な人間でなければ、完全な神さまと一緒に住むことはできないからです。

最初に造られたのはアダムという男でした。そして、その奥さんの名前はエバといいます。主はアダムとエバを愛され、二人が楽しく暮らせるように、素晴らしい庭を造ってくださいました。そこにはたくさんの動物や鳥がいて、水が流れ、川が野を横切り、色とりどりの花や木々に満ちあふれて、たくさんの木々は、おいしい実がたくさんなっていました。

神さまはアダムとエバが行きたいところに、どこにでも行けるようにしてくださいました。そして一つの実の木以外、どんな木の実でも食べても良いと言ってくださいました。

神さまは、人をエデンの園の番人にし、その管理を任せました。 創世記2:15
園の中央には、「いのちの木」と、「善悪を判断する力のつく木」とがありました。 創世記2:9



第4章

さて、たった一本の木だけ、神さまが食べてはいけないと命じられた木がありました。もしアダムとエバがこの命令に背き、この木の実を食べてしまうと、二人とも死んでしまうからです。

アダムとエバにとって、この木の実を食べるのを我慢することは別に大変なことではありませんでした。なぜならその庭には他にも、もっとたくさんおいしい木の実があったからです。大事なことは、神さまの命令に従うことによって彼らがどれほど神さまのことを信じているかをあらわすことでした。二人にとって、何が一番良いことかを神さまは知っておられるということを二人も知っていたからです。

神さまが二人に望んでいたのは、神さまの言葉を信じるということでした。神さまは「私を信じなさい」と言われたのです。

こうしてこの完全な世界で、神さまが造られた完全な二人の人間は、完全な神さまと一緒に楽しく幸せに暮らしていたのでした。⁷

…一つだけきびしい注意がありました。「園の果物はどれでも食べてかまわない。だが『善悪を判断する力のつく木』の実だけは絶対にいけない。それを食べると、正しいこととまちがったこと、よいことと悪いことの区別について、自分勝手な判断を下すようになるからだ。そんなことになったら、必ず死ぬ。」 創世記2:16-17

園には、あらゆる種類の美しい木が植えられています。どれもこれも、おいしい実をつける木ばかりです。

創世記2:9



第4章

さて、アダムとエバが暮らしている美しい庭に、あの邪悪で恐ろしいサタンがやってきました。サタンはアダムとエバにこう言いました。「神さまはあなたたちに、もっと良いものを隠しておられるのですよ」と。サタンは続けました。「もしあなたたちがあの木の実を食べると、あなたたちは神さまのようになるのに」と。⁷

さて、アダムとエバはどうしたのでしょうか？サタンの言葉は本当でしょうか？それとも嘘でしょうか？

もし二人がサタンを信じたなら、その特別な木の实を食べるでしょう。反対に神さまを信じるのなら、食べたりしないでしょ

う。さあ、一体どちらを信じたらよいのでしょうか。神さまか、それともサタンか。

本当のことを言っているのはどちらでしょうか？

蛇は女に、ことば巧みに話しをもちかけました。「ほんとうにそのとおりなんですかねえ？
いえね、ほかでもない、園の果物くだものはどれも食べちゃいけないって話ですよ。なんでも神さまは、

これっぽっちも食べちゃいけないと言ったっていうじゃないですか。」…

「死ぬだなんて、でたらめもいいところだ。神さまも意地が悪いね。

その実を食べたら、善と悪の見わけが付き、神さまのようになっちゃうもんだから、

脅しをかけるなんてさ。」 創世記3:1,4-5



第4章

みなさんは信じられますか？サタンの言葉を聞いたアダムとエバは、自分たちの生活、つまり神さまの造られた完全な世界で神さまと一緒に暮らせる素晴らしい生活を、それほど素晴らしいと思わなくなってしまいました。もっと良いものがほしい、そう、神さまのようになりたい、と思ったのです。こうして二人は神さまがしてはいけないと命じられたこと、つまりその木の実を取って食べてしまったのです。

アダムとエバはサタンの嘘を信じてしまいました。二人は神さまよりもサタンのほうが自分たちにとってより良いことを知っているに違いない、と思ったのです。こうして二人は神さまの言われた、たった一つの命令を破ってしまいました。二人は神さまに背き、サタンの側についたのです。

なんと悲しいことでしょうか。神さまの言葉を守らず、その命令に背くとき、いつも悲しいことが起るのです。

…その実はとてもきれいで、おいしそうなのです。「あれを食べたら、何でもよくわかるようになるんだわ。」
そう思いながら見ていると、もう矢も盾もたまらなくなり、とうとう実をもちで、食べてしまいました。
ちょうどそばにいたアダムにも分けてやり、いっしょに食べたのです。 創世記3:6



第4章

アダムとエバが神さまの命令に背いた瞬間、この世界のすべてが変わりました。もう完全ではなく、平和でもありません。たちまち雑草が生え地面を覆い、イバラが伸び始めました。動物たちは互いに殺し合いを始め、この世界は強いものが弱いものを殺す、病気と悲しみに満ちた残酷な死の世界となったのです。

罪はすべてのものを台無しにします。神さまがつくられた完全な世界も、今やガラガラと崩れてしまいました。神さまとあれほど仲良しだったのに、その関係も壊れてまったのです。

アダムとエバは正しい方を選んだと思っていましたが、二人が選んだのは実は神さまの命令に背き、すべてを壊してしまう間違っただけだったのです。

死ぬまで汗水流して土地を耕し、働いて糧^{かて}を得なければならない。そしてついに死に、また土に帰る。創世記3:19
動物や植物のような自然界のものでさえ、このすばらしい日を待ち望みながら、病気や死の苦しみにうめいている…。
ローマ8:22

そこで神さまは、彼らがあらゆる性的な罪に深入りするに任せました。彼らは、神さまについての真理を知っていながら、信じようとせず、わざわざ、偽り^{いつわ}を信じる道を選びました。そして、神さまに造られた物[サタン]には祈りながら、それらをお造りになった神さまには従いませんでした。ローマ1:24-25



第4章

神さまはアダムとエバにこう言われました。「罪を犯してしまったので、お前たちの体はいつかすべての働きが止まってしまいうだろう」と。つまりいつかは死んでしまう、ということです。

みなさんは、どうして人間は死ぬのだろう、と考えたことがありますか？聖書によると、アダムとエバが罪を犯した瞬間、この世界に死というものが生まれた、と書いてあります。

死ぬということは、とても恐ろしいことです。誰かが死ぬということは、もうこの地上に生きていない、ということでもあります。死んでしまったらもう生き返ることはありません。だから、お葬式で人々が悲しみ、泣くのです。仲のいい友達が死んでしまったらどうでしょうか。自分が一人ぼっちになってしまった、と心に穴が開いたように寂しくなり、泣いてしまうでしょう。「死ぬ」ということは、そういうことだ、と聖書に書いてあります。仲の良い友達から離されてしまうということなのです。

罪の支払う報酬ほうしゅうは死です。ローマ6:23

以前、あなたがたは神さまからのろわれた存在であり、罪のために永遠に滅びる運命でした。

エペソ2:1

あなたがたは、以前は…神さまから離れていました。コロサイ1:21



PEDERSEN

1876 - 1953
R.I.P.

ADAM

FONDLY REMEMBERED

MAS

第4章

アダムとエバがサタンの方を信じたとき、素晴らしい友達からも離されてしまいました。あの神さまから離されてしまったのです。神さまと二人の間にあった仲の良い関係は、その時終わってしまいました。もう遅いのです。二人とも、自分が独りぼっちになってしまったと感じたでしょう。そして心の中が痛み、泣くしかなかったでしょう。本当に悲しい、悲しい出来事です。アダムとエバは一番の仲良しから離されてしまったのです。

しかしそれだけではありません。サタンの方を信じたため、死んだ後は天国ではなく、サタンと同じ恐ろしい場所へ行かなければならなくなりました。アダムとエバはこうして神さまから離されてしまったのです！この悲しい出来事は、第二の死、と呼ばれています。

アダムとエバは、どれほど恐ろしかったでしょうか。

罪があなたがたと神さまとの断絶のもとです。罪のために、神さまは顔をそむけ、いっこうに聞こうとなさいません。

イザヤ59:2

…不忠実な者、墮落した者、人殺し、不道德な者…うそをつく者—こんな連中の行き着く先は、火と硫黄が燃えさかる池です。これが第二の死なのです。 黙示録21:8



第4章

しかし神さまはアダムとエバにとても素晴らしいことも告げてくださいました。聖書にはこう書いてあります。神さまは二人を本当に愛して下さっていて、そのため、二人がまたもとのように完全なものとなれるような一つの道・方法を用意して下さった、というのです。もし彼らがこの道を通ってくるなら、神さまは二人をゆるし、天国に入れてくださるのです。

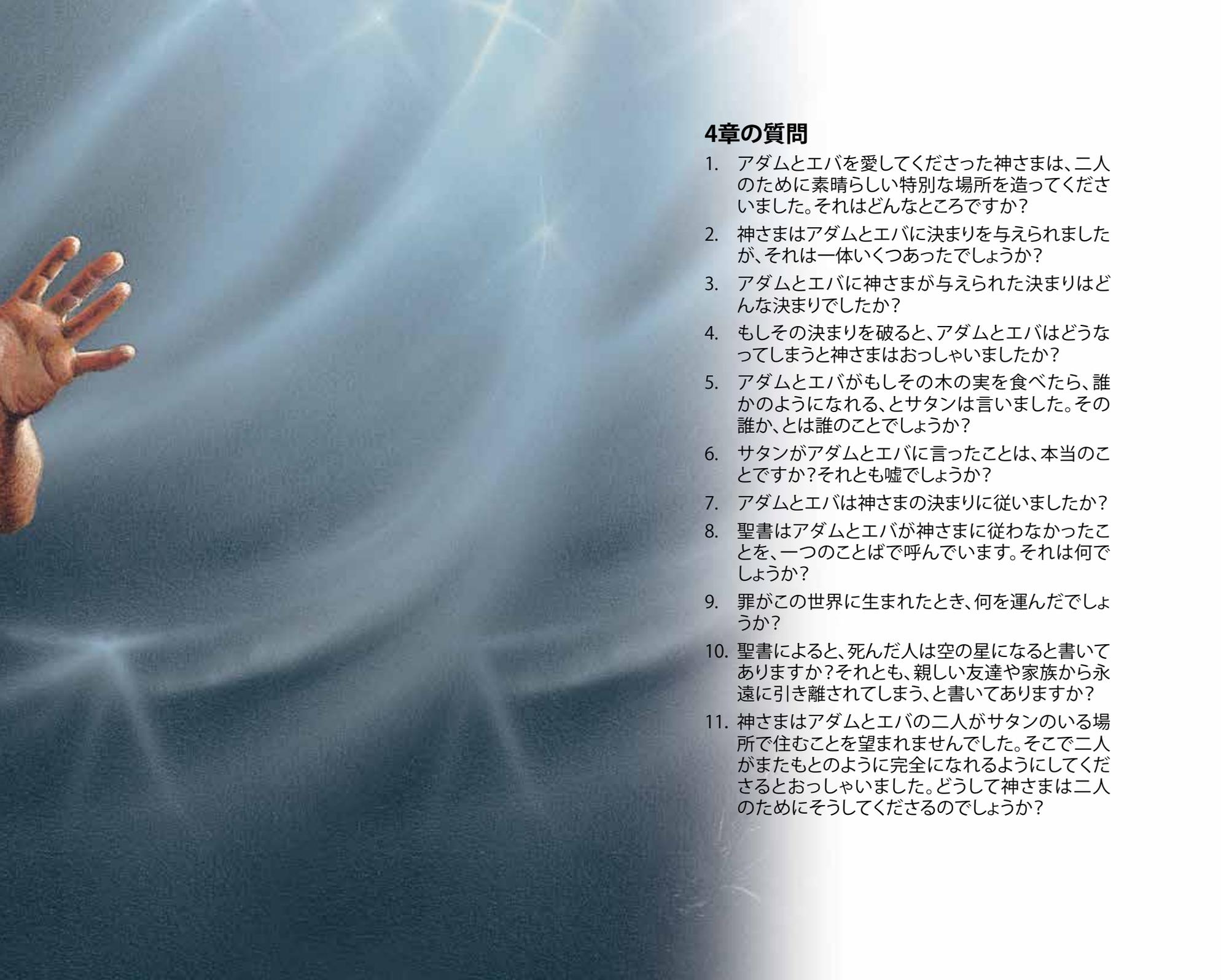
アダムとエバはここでどちらかを選ばなくてはなりません。神さまの道を通って天国に入り、もとのように完全な神さまとともに永遠に暮らすか、その反対に神さまの教えてくださった道を通らず、サタンの待つ恐ろしい場所で永遠に苦しむかの、どちらかです。天国に行くには、神さまの道を通るしかありません。なぜなら完全な者でなければ天国には入れないからです。

さあ、アダムとエバはどちらを選んだと思いますか？

わたしのほかに、ほんとうの神はいない。世界中の人よ、わたしだけが神だから、わたしを信じて救われよ。
イザヤ45:21-22







4章の質問

1. アダムとエバを愛して下さった神さまは、二人のために素晴らしい特別な場所を造ってくださいました。それはどんなところですか？
2. 神さまはアダムとエバに決まりを与えられましたが、それは一体いくつあったのでしょうか？
3. アダムとエバに神さまが与えられた決まりはどんな決まりでしたか？
4. もしその決まりを破ると、アダムとエバはどうなってしまうと神さまはおっしゃいましたか？
5. アダムとエバがもしその木の実を食べたら、誰かのようになれる、とサタンは言いました。その誰か、とは誰のことでしょうか？
6. サタンがアダムとエバに言ったことは、本当のことですか？それとも嘘でしょうか？
7. アダムとエバは神さまの決まりに従いましたか？
8. 聖書はアダムとエバが神さまに従わなかったことを、一つのことばで呼んでいます。それは何でしょうか？
9. 罪がこの世界に生まれたとき、何を運んだのでしょうか？
10. 聖書によると、死んだ人は空の星になると書いてありますか？それとも、親しい友達や家族から永遠に引き離されてしまう、と書いてありますか？
11. 神さまはアダムとエバの二人がサタンのいる場所で住むことを望まれませんでしたが、そこで二人がまたもとのように完全になれるようにして下さるとおっしゃいました。どうして神さまは二人のためにそうして下さるのでしょうか？

第5章

誰を信じるべきか

神さまが最初にこの世界を造られたとき、そこはまるで天国のように完全な素晴らしいところでした。

神さまに造られた人間、つまりアダムとエバも完全でした。なぜなら完全な人間でなければ、完全な神さまと一緒に暮らすことは出来ないからです。神さまは二人を愛されました。そして特別な友達としてくださったのでした。



神さまは、人をエデンの園の番人にし、その管理を任せました。 創世記2:15
神さまはでき上がった世界を隅から隅^{すみ}まで見渡しましたが、どこから見ても非の打ちどころがありません。
創世記1:31



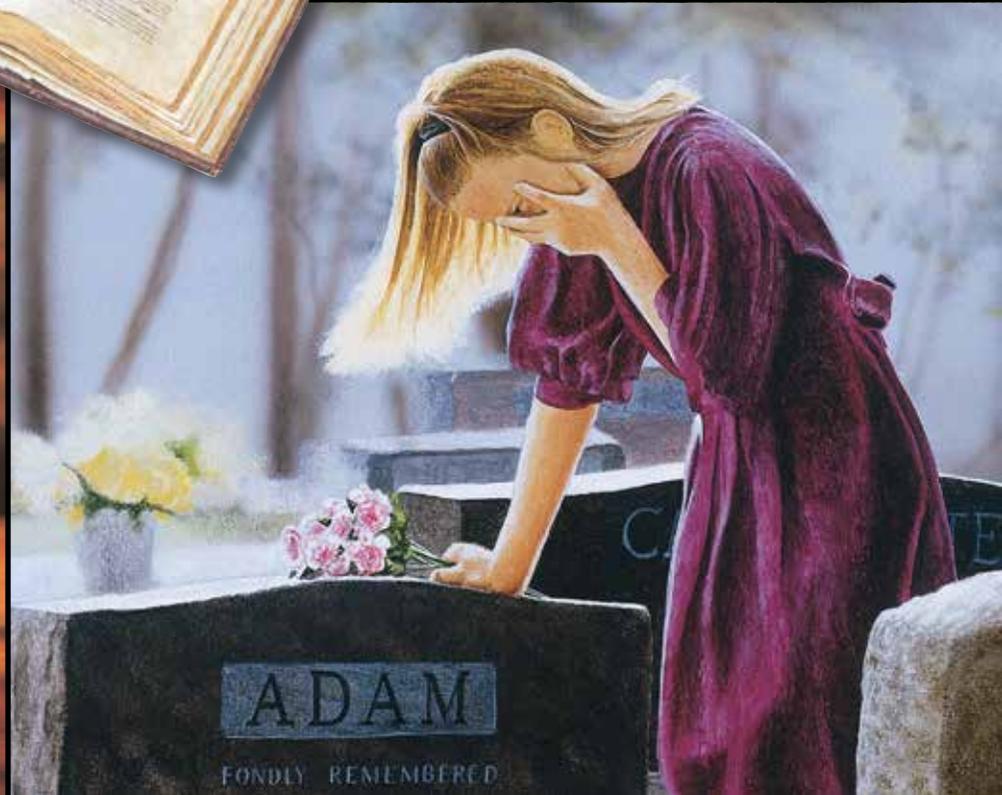
第5章

しかしアダムとエバのすむ庭にあのサタンがやってきました。そしてアダムとエバは、「神さまのようになれる」というサタンの嘘を信じ、神さまに背いてしまいました。つまり罪を犯してしまったのです。

聖書には、罪は死を運んでくる、と書いてあります。アダムとエバの体は年を取り始め、いつか必ず死ななければならなくなりました。そして死んだ後はサタンとその手下の天使たちが待つ恐ろしい場所に落ちるのです。死ぬことと同じくらい恐ろしいので、聖書は「第二の死」と呼んでいます。

罪を犯してしまうと、何も良いことはありません。後から悲しいことばかり起こるのです。

…この火の池が、第二の死です。 黙示録20:14
罪を犯した本人が死ぬ。 エゼキエル18:20



第5章

神さまは、アダムとエバがサタンのいる場所に落ちることを望まれませんでした。神さまはそれほど二人を愛しておられたのです。しかし、そのままでは天国に入ることは出来ません。なぜなら二人とも、もう完全ではなくなってしまったからです。二人はサタンの嘘を信じ、罪びととなってしまいました。さあ、神さまはどうしようとお考えになったでしょうか？

神さまはなんでも出来る方です！神さまは一つのご計画を考えつかれました。そしてアダムとエバにそのご計画を話してくださいました。それは二人にとって、本当に嬉しい嬉しい知らせでした。

神さまはいつか一人の特別な人を地上に送る、と約束されたのです。この人はアダムとエバの犯した罪の罰・・・第二の死から人間を救い出すことができる、というのです。その方こそ救い主だという約束です。

その救い主がどのようにしてアダムとエバをもう一度完全にしてくださるのか、神さまは教えてくありませんでした。しかし、はっきりと約束してくださったのです。さあ、

アダムとエバは、今度は神さまを信じる事が出来たでしょうか？

神さまの言葉を信じたのでしょうか？

…顔をそむけたが、…永遠の愛をもって愛すると、あなたを救い出す神さまは約束なさいます。 イザヤ54:8



第5章

「信じる」という言葉の意味を考えたことがありますか？今からみなさんに一つのお話をしましょう。

ある日、ジョンはおじいさんと一緒に川のそばを散歩していました。その時、土手に近づき過ぎたのでしょう、突然ジョンは足を滑らせ、川へザブン！と落ちてしまいました。ジョンは必死に顔を出そうともがくのですが、流れはどンドンと彼を遠くへと押し流します。ジョンはもうだめだ！と思いました。水は氷のように冷たく、濡れたジョンの洋服は重くなり、彼は自分の体が沈んでいくのがわかりました。

しかしその時、ジョンのおじいさんが水に飛び込みました。おじいさんはとても力の強い人で、その川の真ん中でも足をしっかりと踏ん張ることができました。おじいさんは長い腕を伸ばし、ジョンに向かって叫びました。「ここだ！私の手をつかみなさい！必ず助けてあげるから、私を信じなさい！」

…徹底的に神様さまに頼ることで。絶対に自分を頼ってはいけません。箴言3:5
主は私の…救いです。だれを恐れる必要があります。詩篇27:1



第5章

ジョンはどうしたと思いますか？

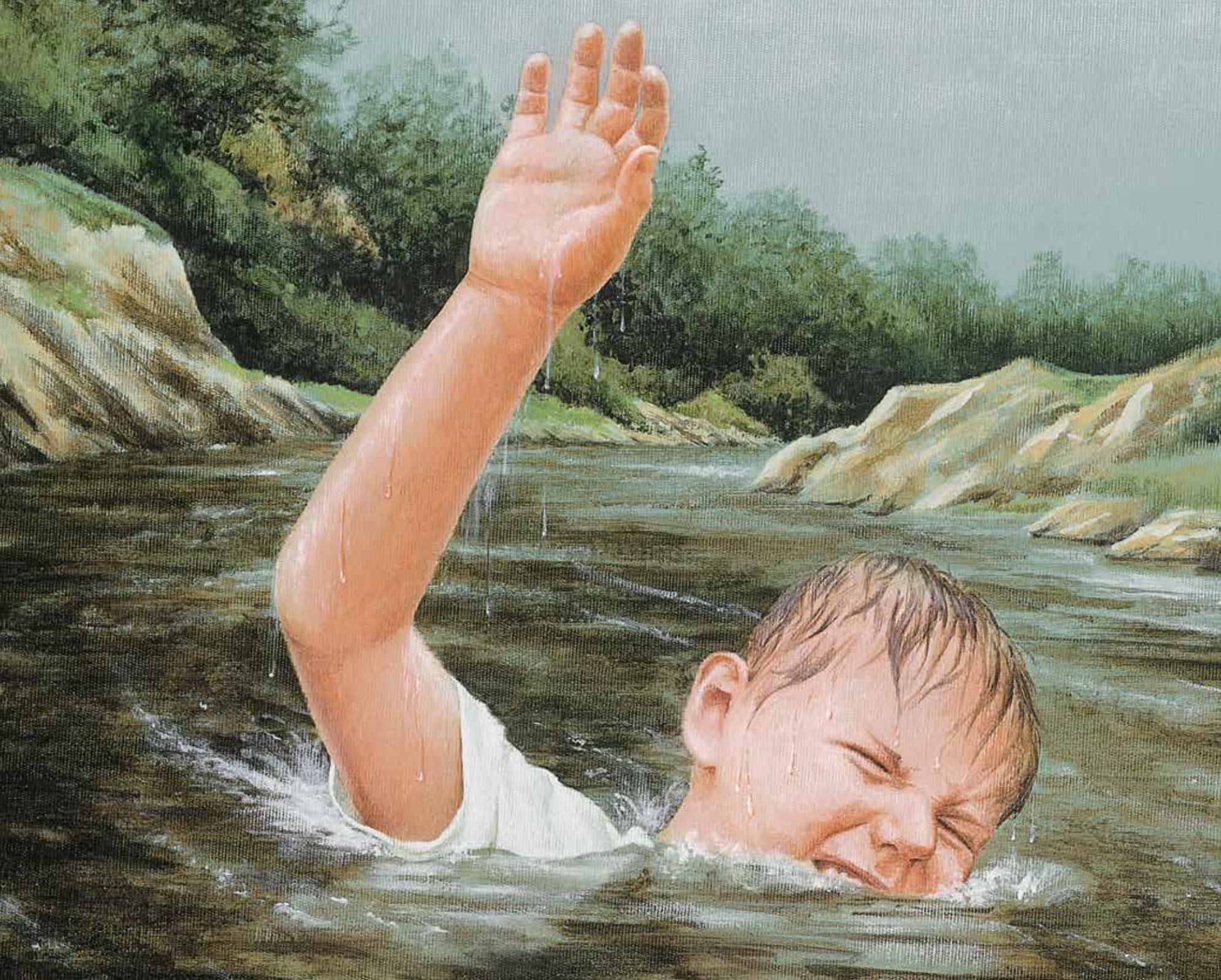
もしジョンがおじいさんのことを信じていたなら、彼はすぐにおじいさんの腕をつかんだでしょう。もしおじいさんのことを信じていなかったら、ジョンは腕をつかまず、自分の力でもがき続けたに違いありません。おじいさんか、自分自身か、ということなのです。

ジョンはどちらを信じるべきでしょうか？

わたしが主であって、ほかに救い主はいない。 イザヤ43:11

人をあてにするより、神さまを信頼したほうがよいのです。…神さまは私の力となり、歌となってくださいます。こうして、私は勝利を手に入れました。 詩篇118:8,14

…神さまに信頼しなさい。神さまはあなたがたを助け…。 詩篇115:11



第5章

ジョンは手を伸ばし、おじいさんの腕をつかみました。おじいさんが必ず自分を助けてくれる、と信じていたのです。ジョンはおじいさんを信じました。彼は正しい方を選んだのです。

このお話と同じように、神さまはアダムとエバが正しい方を選ぶことを望まれました。サタンのいるあの恐ろしい場所から神さまが必ず救ってくださるということ信じ、神様を選んで欲しいと思われたのです。そうです。神さまは素晴らしい救いのご計画を持っておられるからです。さて、アダムとエバは神さまを信じたのでしょうか？⁸

主はそのご計画や救い主について、二人に全部をお話しなさいませんでした。しかし、はっきりとした約束をくださいました。もし人が神さまを信じ、その約束を信じるなら、死んだその瞬間、また完全なものとされる、という約束です。⁹ 神さまと一緒にいることができるのは、完全な人間だけだからです。そのために、人間は他に何もする必要はありません。ただ神さまを信じること、それだけです。本当に簡単なことです。

たくさんの人々がこの素晴らしい知らせを聞き、その救い主が地上に来られる日を待ち望むようになりました。

この救い主とはどんな人でしょうね。

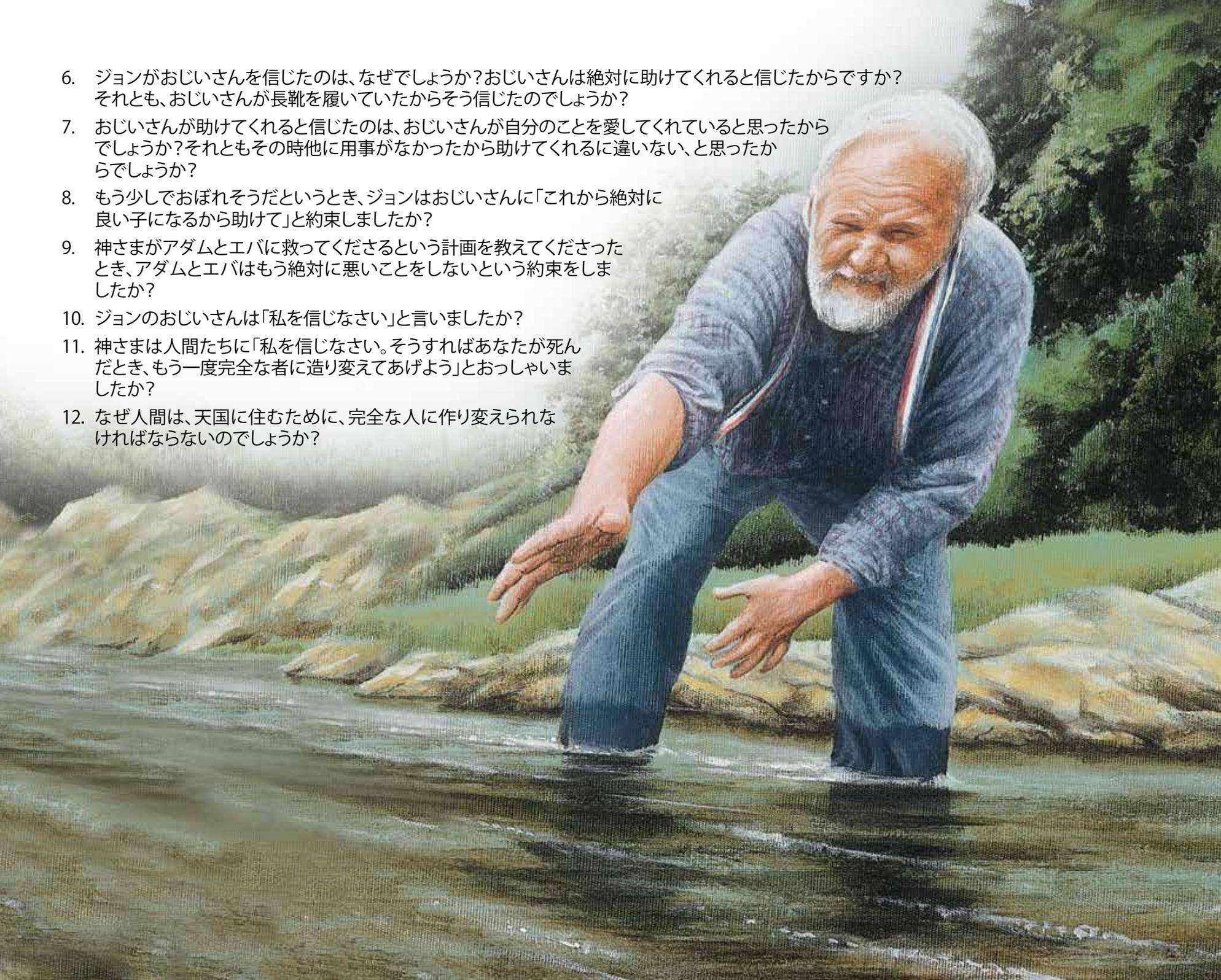


5章の質問

1. アダムとエバはサタンの方についてしまいました。そのため二人はいつか死ぬことになり、神さまと永遠に離され、サタンのいるあの恐ろしい場所に行かなくてはならなくなりました。そのことを聖書では何と呼んでいますか？
2. 神さまは二人が完全な天国で神さまと一緒に暮らせるように、と望まれました。神さまは何を思い付かれたのでしょうか？
3. 神さまはアダムとエバの二人に、そのご計画をすべてお話しましたか？
4. 神さまは人間たちを第二の死から救う一人の人を送ってくださると約束されました。その人は何と呼ばれる人でしょうか？
5. アダムとエバは神さまの約束を信じましたか？



6. ジョンがおじいさんを信じたのは、なぜでしょうか？おじいさんは絶対に助けると信じたからですか？それとも、おじいさんが長靴を履いていたからそう信じたのでしょうか？
7. おじいさんが助けると信じたのは、おじいさんが自分のことを愛してくれていると思ったからでしょうか？それともその時他に用事がなかったから助けると信じたに違いない、と思ったからでしょうか？
8. もう少しでおぼれそうだとするとき、ジョンはおじいさんに「これから絶対に良い子になるから助けて」と約束しましたか？
9. 神さまがアダムとエバに救ってくださるという計画を教えてください。アダムとエバはもう絶対に悪いことをしないという約束をしましたか？
10. ジョンのおじいさんは「私を信じなさい」と言いましたか？
11. 神さまは人間たちに「私を信じなさい。そうすればあなたが死んだとき、もう一度完全な者に造り変えてあげよう」とおっしゃいましたか？
12. なぜ人間は、天国に住むために、完全な人に作り変えられなければならないのでしょうか？



第6章

救いのご計画

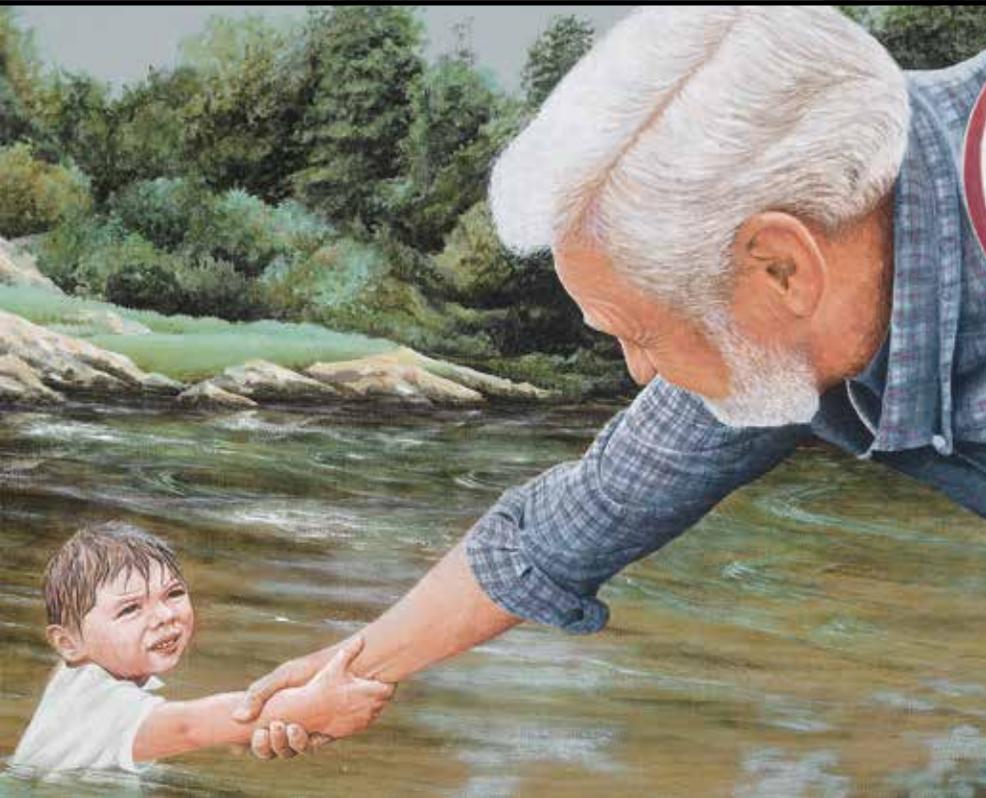
神さまはこの世界を完全な素晴らしい場所として造ってくださいました。しかし、アダムとエバが神さまの言葉は信じられないと思った瞬間から、その素晴らしい世界はガラガラと崩れていってしまいました。罪のあふれる場所となってしまったのです。

聖書は、罪から生まれるものは死であるとして書いてあります。罪を犯してしまうと、その後は数え切れないほどの悲しいことばかり起こるのです。

しかし神さまは、アダムとエバに一つのとても嬉しい知らせを語ってくださいました。それは救いのご計画でした。いつかある日、罪が運んできたさまざまの悪いものから、私たち人間を救い出す、一人の救い主を地上に送ってくださるという約束です。その救い主はサタンの側にいる人間が、ふたたび神さまのそばへ戻れるようにしてくださる、というのです。第二の死から人間を救い出すために救い主が来られるのだ、と神さまはおっしゃいました。

もし人が神さまの言葉が本当のことだと信じるなら、その人は完全なものへと造り変えられます。

完全な天国に住むためには、完全な人にならないからです。



第6章

しかしここには一つの大きな問題があります。

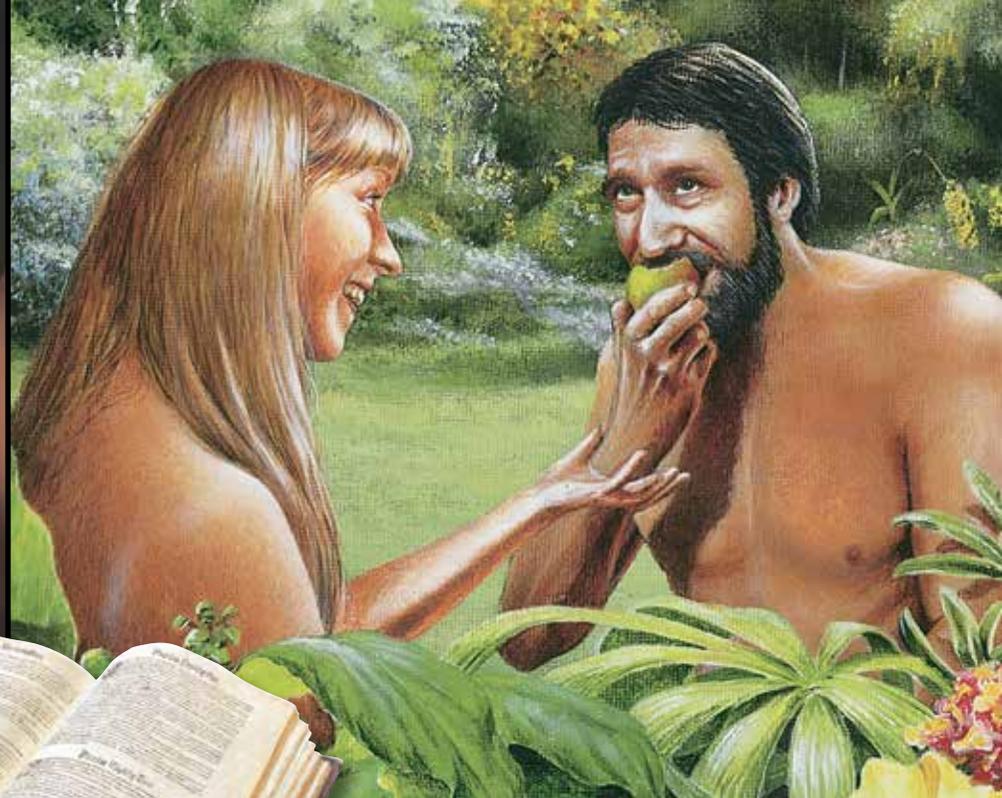
神さまは罰を受けないままのアダムとエバを天国に入れてあげることにはできません。神さまは罪を犯した人をそのまま何もしないでおくというようなことはできないからです。

アダムとエバは神さまに背き、サタンの側に行ってしまった。つまり罪を犯したのです。二人が罪を犯したのに、それをまるでなかったことのように知らない顔をするのは神さまにはできません。それは不公平で正しくないことだからです。悪いことは必ず罰せられなければなりません。

ではどうすれば、このアダムとエバの罪を、罰を与えずに赦すことができるでしょうか？

これはとても大切な質問です。アダムとエバが罪の罰を受けるのだったら、私たちもみな同じように罰を受けなければなりません。男の子も女の子もお父さんもお母さんも、みんなです。この世に生まれてきたすべての人が何かしら悪いことをしてしまうからです。私たちはみな、一人残らず罪を犯します。アダムとエバと同じ、罪びとなのです。

すべての人間は神さまがどのようにして罰を与えずに罪を赦されるかを知っておかなければなりません。



第6章

神さまはそのご計画について、少しだけお話してくださいました。

なぜなら人々は、自分たちの罪がどれほど悪いことを、知らなかったからです。神さまは私たち人間が自分たちの罪について理解できるように、一つのヒントを教えてくださいました。それは、自分たちの罪が罰を与えられずに赦されることができる方法です。

神さまは一匹の小羊を連れてくるようにとおっしゃいました。その小羊はオスでなければなりません。大人になる前の子供の羊です。そしてその小羊には、傷など何一つ悪いところがあってはいけません。病気があったり、4本の足を怪我していたりしてもだめです。また毛が抜けていてもいけません。完全な小羊でなければならないのです。

人々は小羊を連れて祭壇へやってきました。そこは特別な死の場所です。そこでその人は自分の手を小羊の頭に置くことになっていました。神さまはこうすることによって、その人のすべての罪がその小羊の上に移ったことになるのだ、と言われたのでした。

雄牛を…ささげる時は、体に傷のないものでなければならない。…その動物の頭に手を置く。
そうすることで、身代わりのいけにえと認められるのだ。 レビ記1:3-4



第6章

しかし、それはとても悲しいことの始まりでもありました。

覚えていますか？死というものを運んだのは罪でしたよね？そう、小羊は今その人の犯した罪のために死ななければならないということなのです。小羊を連れてきた人は小羊を殺さなくてはなりませんでした。小羊たちが死ななければならないのは、自分たちの罪を背負ったからだということ、人間たちはその目で見て、知ったのです。

神さまは人間にこのようなことをさせました。そのおかげで人間たちは神さまのご計画、つまりどうすれば自分たちの犯した罪が罰を受けずに赦されるのかを知ることができました。小羊は私たち人間の身代わりなのです。¹⁰

人々は神さまを信じ、神さまの言われるとおりにしました。そして小羊が自分の身代わりになって罰を受けたということを信じました。その人が死ぬとき、神は彼を完全なものとして天国に入れてくださるのです。

神さまのこのご計画はなんと嬉しいものでしょうか。神さまがどれほど私たちを愛してくださっているか、よく分かりますね。

神さまは、追放された者が神さまからも追放されたままになることをお望みになりません。
2サムエル14:14 (新共同訳)



6章の質問

1. 神さまはなぜアダムとエバに罰を与えたくないと思われたのですか？
2. 神さまはアダムとエバの犯した罪を見ない振りをして知らん顔をすることができたのでしょうか？
3. 神さまは罪を犯した人間たちに、どのようにしたら罰を受けずにその罪を償えるかを教えてくださいました。その時、連れて来なさいと命じられた動物は何だったのでしょうか？
4. その小羊は、オスでしたか？メスでしたか？
5. 足が悪かったり、病気や毛が抜けてしまっている小羊でも良かったですか？
6. その小羊が連れて行かれる特別な死の場所とは、何というところでしたか？
7. 小羊を連れてきた人は、その手を小羊のどこに置かなければなりませんでしたが？
8. その手を小羊の頭の上に置くというのはどういう意味があったのでしょうか？
9. その人のすべての罪を移された小羊は、その後どうなったのでしょうか？
10. 小羊は何一つ悪いことをしていなかったのですが、何か罰を受けなければならなかったのでしょうか？
11. 聖書には、罪のための罰は死である、と書いてあります。では、小羊は誰の身代わりになって殺されたのでしょうか？
12. なぜ何も悪いことをしていないのに、小羊は死ななければならなかったのでしょうか？
13. 人間は神さまが命じられたとおりにしました。小羊を連れてきなさいといわれて、その通りにしたのです。では、人間が神さまの言われたとおりにしたのは、神さまの言葉を信じたからですか？それとも神さまは小羊が嫌いだから、と思ったからですか？
14. もし神さまを信じるなら、その人は死んだ後天国に行くことができます。神さまは人間をどのように変えてくださるのでしょうか？





第7章

正しいことと間違ったこと

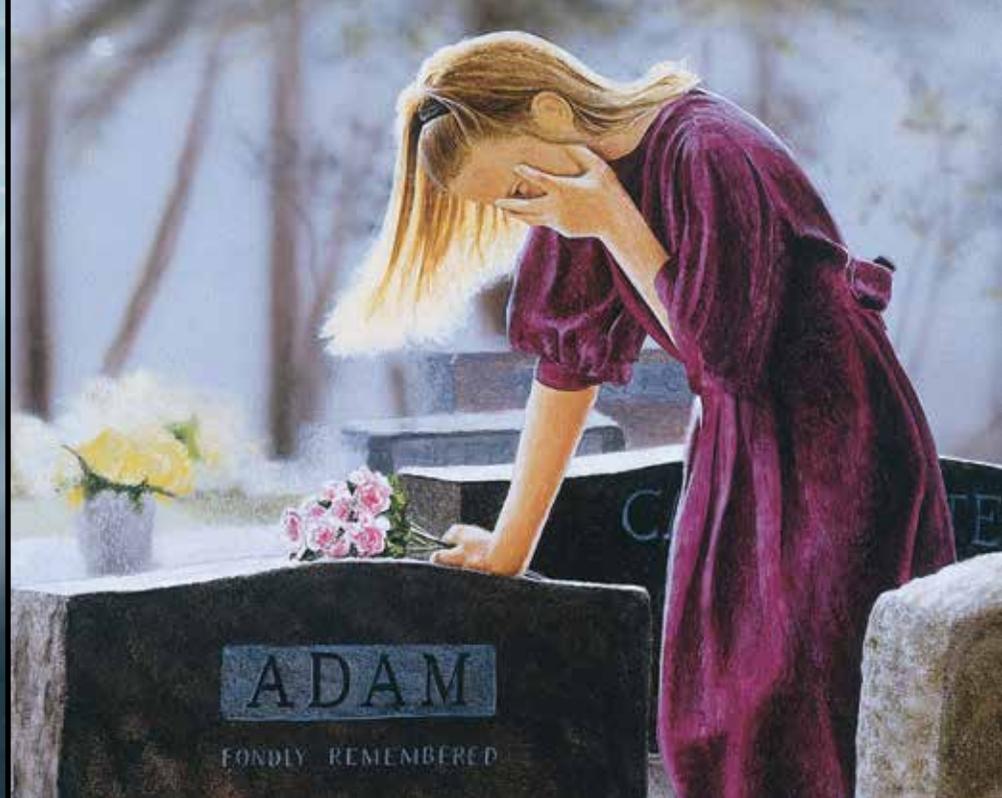
神さまが最初に世界を造られたとき、それは完全な場所でした。

しかしアダムとエバは神さまに従わないで、サタンの側についてしまいました。世界は変わり、罪と死の場所になってしまいました。罪のために死が始まったと聖書は語っています。

でも神さまはアダムとエバを愛してくださいました。神さまはすべての人を愛しておられます。人々が罪のために罰を受けることを望まれませんでした。そこでいつの日か、救い主を送ってくださると約束してくださいました。誰でも罪のもたらす悲しみから救われたいと思うなら、救っていただけました。救い主は「第二の死」からも救ってくださいました。しなければならないことは、神さまに信頼することだけでした。それから、天国で永遠に生きられるように、人々を完全にしてくださいました。

これは、とてもよい知らせでした。

天の神さまに信頼する人は幸いです。 詩篇84:12



第7章

しかし神さまは、人々の罪を無視して、それがなかったふりをすることはできませんでした。すべての間違いが罰を受けなければなりませんでした。そこでご自分の計画——人を罰しないで罪を罰する方法がわかるように、あることをするように神はお求めになりました。

完全な雄の小羊を祭壇に連れてくるように、人々におっしゃいました。小羊を連れてきた人はその頭に手を置き、自分の罪が小羊に置かれたことを表わしました。あたかも罪が人から——小羊に移ったかのようでした。小羊が人の罪をすべて背負ったので、——その人には罪が残りませんでした。¹⁰ その人がまるで完全であるかのように。あなたは知っていますか。完全な人たちは、完全な神とともに完全な天国で生きることができます。

いけにえをささげる人は、その動物の頭に手を置く。
そうすることで、身代わりのいけにえと認められるのだ。 レビ記1:4



第7章

でもすべての罪が、どのように罰を受けなければならないのかを、覚えていますか。

小羊は人の罪を負ったので、死ななければなりませんでした——死が罪の罰だからです。小羊は人のかわりに死にました。小羊は人のかわりに罰を受けました。

不実なことを行い、あやまって神聖なものを汚した時は、その罪を償うのに見合ういけにえとして、傷のない雄羊を一頭ささげなさい。 レビ記5:15

あなたの罪はみな赦された。 イザヤ6:7



第7章

しかしある人たちは、神さまのご計画を信じませんでした。彼らは、神の計画は正しくない和其他の人たちに言いました。完全になるために神に信頼するという考えは、あまりに単純すぎるということです。その人たちはもっと何かをしなければならないと感じました。それで自分の計画を考え出し——自分の規則を作りました。

悪いことよりもよいことをたくさんするなら、神さまは喜んでくださるだろうと彼らは言いました。もし親切で正しいことをするなら——天国で生きる資格があるということです。

でもわかりますか。完全な天国で神さまとともに生きるためには、どれだけよくならなければならないのかをこの人たちは理解していませんでした。



神の法律のどれかに違反すれば、たとえ気づかずにしたことでも、罪になる。 レビ記5:17



第7章

そこで神さまは説明してくださいました。

もし何かを盗むなら、どんなに少しであろうと天国にはふさわしくないとされました。

もしお金や物のようなものを神さまより愛するなら、彼らは完全ではないと言われました。

もし気持ちをいらだたせるなら、それは罪であると言われました。

もし嘘をつくなら、どんなに小さな嘘であろうと、その人たちは完全でないと言われました。嘘をつくことは罪でした。

たった一度でもお母さんやお父さんに口答えをしたら、もう完全ではないと言われました。

ただ完全な人たちだけが、完全な神さまとともに生きることができるのです。

両親を尊敬しなさい。…人を殺してはならない。…盗んではならない。うそをついてはならない。

出エジプト記20:12-16

神さまのことは生きていて、力にあふれています。神さまはすべての人の心を、その人がどこにしようと、探り知るお方です。今も生きて、すべてを見抜かれる神さまの前に、裸のままさらけ出されているのです。

ヘブル4:12-13

Handwritten text in a South Indian script, likely Grantha or Tamil, arranged in approximately 10 lines. The script is finely inscribed on a palm leaf. The text includes various characters and symbols, such as 'U', 'A', 'I', 'E', 'O', and 'V', interspersed with more complex symbols. The lines are roughly as follows:
1. U A I E O V
2. A I E O V
3. U A I E O V
4. U A I E O V
5. U A I E O V
6. U A I E O V
7. U A I E O V
8. U A I E O V
9. U A I E O V
10. U A I E O V

第7章

神さまは民に、全部で10の規則を与えてくださいました。それは十戒と呼ばれました。誰も戒めを忘れることがないように、石板といわれる平らな二つの石に、主はその規則をお書きになりました。石の上に書かれたので、誰も自分の規則を加えたり、規則を消したりできませんでした。神さまの規則は決して変わりません。

主は石の板をモーセという名の人物にお与えになりました。モーセはすべての民に、神さまがお書きになったものを示すことができました。

どんなに一生懸命頑張ろうとも、神さまの十戒を完全に守ることはできないと、すべての人が知る必要がありました。神さまといっしょに生きられるほどよくはなれないと。彼らは罪人でした。罪にふさわしい罰から自分たちを救うことはできませんでした。

その人たちは救い主を必要としていました——彼らには小羊が必要でした。

神さまのおきて全体を注意深く守っていても、一点でもつまずけば、破った人と同罪です。ヤコブ2:10
おきての命じることを実行して、神さまに正しい者と認められようとしてもむだです。私たちが神さまのおきてを深く知れば知るほど、自分が従っていないことが明らかになるからです。神様のおきては、私たちに、自分が罪人であることを自覚させてくれるだけです。ローマ3:20



7章の質問

1. 人々が罪を犯すとき、神さまはそれがなかったふりをすることができますか。
2. どのように人を罰しないで罪を罰するのかわかるように、神さまはあることをするようにお求めになりました。何を連れてくるように人々にお求めになりましたか。
3. 小羊を連れてきた人は、その頭に手を置きました。このことは何を表わしましたか。
4. 人の罪を背負ったので、小羊はどうならなければなりませんでしたが。
5. 死が罪の罰であると、聖書は語ります。誰のかわりに小羊は死にましたか。
6. ある人々は神さまの計画を信じないで、自分たちの規則を作りました。神さまを喜ばせるために、何ができると彼らは考えましたか。
7. 人はいくつの物を盗んだら、完全でなくなることができますか？
8. 神さまよりお金を愛するなら、聖書はそれを何と呼びますか。
9. 少しであれば、嘘をついても大丈夫ですか。
10. 少しの嘘をついても、罪人になりますか。
11. もし気持ちをいらだたせるなら、聖書はそれを何と呼びますか。
12. お父さん、お母さんに口答えをする時、子どもたちが何をしていると聖書は言いますか。
13. 私たちが頭の中で考えていることは、他の人々にはわかりません。しかし神さまはどれだけのことをご存じですか。
14. もしとてもよくなるように頑張り、悪いことをすることも考えることもしないなら、私たちは天国で生きられるくらい完全になるでしょうか。



第8章

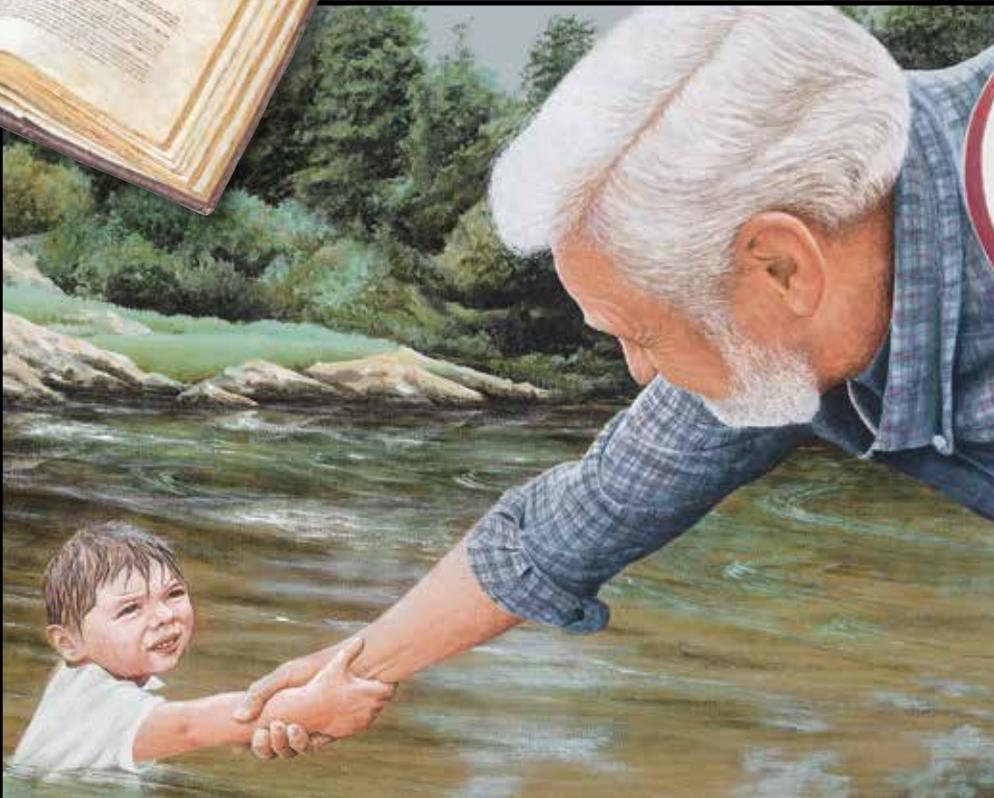
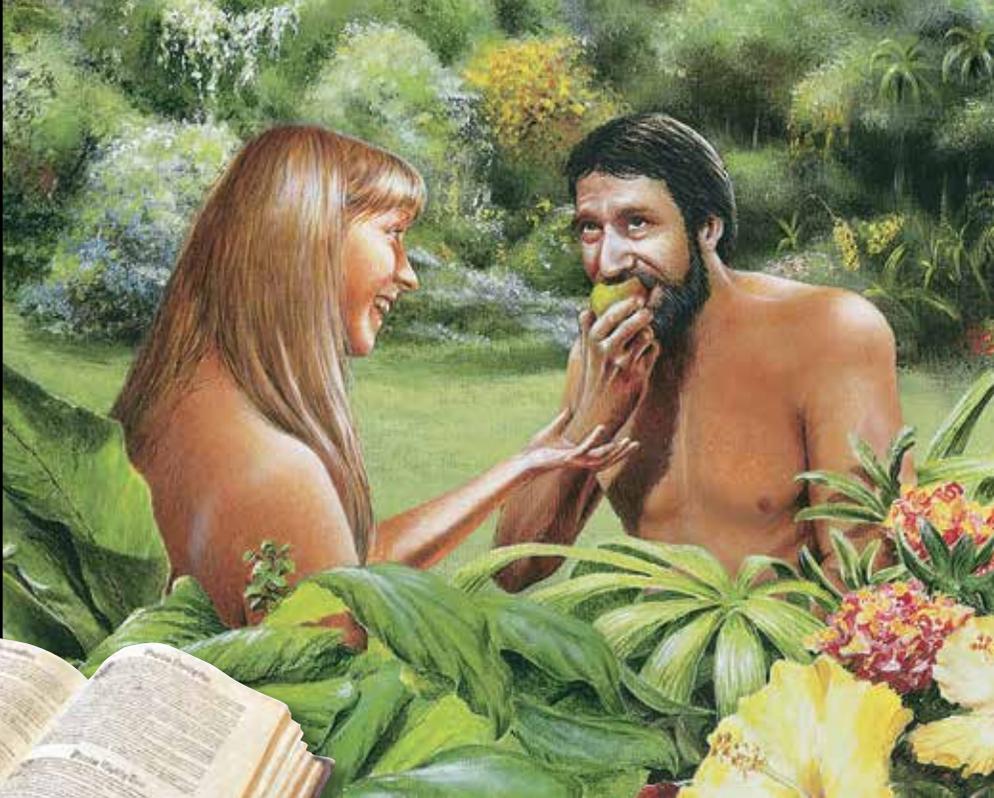
約束の救い主

完全な神さまとともに生きることができるのは、完全な人間だけだと聖書に書いてあります。しかし私たち人間は、完全な人は一人もいません。男の子でも女の子でも、お父さんでもお母さんでも、みな間違ったこと、悪いことをしてしまいます。ただ一つ間違いがないのは、罪を犯してしまったら、必ず罰を受けるということです。私たちは自分の犯した罪を償うために、どれほどたくさん罰を受けなくてはならないのでしょうか。これを考えると、本当に恐ろしくなりますね。

しかし神さまが約束してくださった、いくつかの素晴らしい知らせを覚えていますか？ そのご計画とは何だったのでしょうか？ 聖書によると、神さまはいつかある日、この地上に私たちのために、一人の救い主を送ってくださると約束された、とあります。

この救い主こそ、自分たちの犯した罪の罰から助けてほしい、と願っている人を、すべて救ってくださる方なのです。

わたしが主であって、ほかに救い主はいない。 イザヤ43:11



第8章

何年も何十年も、人々はこの救い主がやってくる日を今か今かと待っていました。その間、神さまは人々に罰を受けないで罪を償える一つの方法を教えてくださいました。

神さまは人々に、一匹の完全な傷のない小羊を祭壇に連れて来るように命じられました。人がその手を小羊の頭の上に置いた時、その人の罪が小羊の上に移った、ということになります。そしてその小羊は殺されます。死は罪の罰だからです。¹⁰

小羊はその人の身代わりとなって死んだのです。そのおかげで、その人は自分の罪の罰を受けずにすんだということなのです。

そうです。だからこそ、人々は長い間救い主が来られることを待ち望んでいました。その救い主がどういふ方なのか、人々は考えました。その名前は？ どうやって来られるのだろうか？ どういうふうに私たちを救ってくださるのだろうか？

…期待をこめて待っているのです。…神さまを信じて希望を持ちなさい。
神さまは恵み深く親切で、両腕いっぱい祝福をかかえておいでになるからです。
神さまは、罪の奴隷となったイスラエルを買い戻してくださいます。詩篇130:5,7-8



第8章

とうとうその日がやってきました。救い主がこの世に来られたのです！でも、みなさんは想像できますか？その救い主は、なんと神さまご自身だったのです！そう、神さまご自身がこの地上に来られたのです。なんと驚くべきことでしょうか！！

救い主となるために、神さまは人間の姿になりました。しかし、かといって、神さまであることをやめたわけではありません。主は、私たち人間を救うためには、人間と同じ姿にならないとだめだということをご存知でした。だから神さまはこの地上に、小さな赤ちゃんの姿で生まれて来られたのです。人間の男の子や女の子と同じように。

その赤ちゃんはごく普通の家庭に生まれました。お母さんの名前はマリア、マリアのおむこさんの名前はヨセフと言いました。私たちと同じ、ごく普通の家庭でしたが、

ただ一つ違っていたのは、その赤ちゃんが神さまご自身だったということです。

私たちのために一人の男の子が与えられます。しかも、その手にすべての主権が握られるのです。その子は、「すばらしい助言者」「全能の神」「永遠の父」「平和の君」という肩書きをもらいます。 イザヤ9:6



第8章

その赤ちゃんは病院で生まれたわけではありません。彼が生まれたのは小さな家畜小屋、そこは羊や生まれたばかりの小羊の小屋でした。

その赤ちゃんを最初に訪ねて来たのは羊飼いたちでした。羊飼いたちは小羊の世話をしたり、守ったりする人です。

こうして地上にお生まれになった神さまはイエスと名づけられました。イエスと言う名前の意味は「神さまこそ救い主」という意味です。

イエスさまははるか昔、神さまがアダムとエバに約束された救い主でした。私たち人間が犯した罪の罰から救うために、彼はこの世に来られたのでした。

マリヤは初めての子を産みました。男の子でした。彼女はその子を布でくるみ、^{かいぼ}飼葉おけに寝かせました。
ルカ2:7

その夜、町はずれの野原では、羊飼いが数人、羊の番をしていました。そこへ突然、^{みつが}御使いが現われ、
…言いました。「…すばらしい出来事を知らせてあげましょう。すべての人への、うれしい知らせです。

今夜…救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。布にくるまれ、
飼葉おけに寝かされている赤ん坊、それが、目じるしです。 ルカ2:8-12

そして、生まれた子をイエスと名づけました。 マタイ1:25



第8章

イエスさまはこの地上に生きておられる間、たくさんの素晴らしい奇跡を起こされました。奇跡というのは、普通は絶対に起こらない、おどろくべき出来事のことです。

イエスさまは目の見えない人を見えるようにされたので、その人はもうつまづいたり、穴に落ちたりしなくてすむようになりました。また動かない足を治してもらった人は、すぐに歩いたり走ったりすることができるようになりました。ある時は、死んだ女の子を生き返らせてくださいました。その女の子の友達はどれほど喜んだでしょうか。また、お腹を空かせた大勢の人々を、一人の男の子が持っていた、たった一つのお弁当で、お腹いっぱいにしてくださったこともあります。

イエスさまはこの奇跡を通して、神さまがどのような方であるのかを人々に知らせたのです。

イエスさまは、人々を心から愛してくださいました。



イエスさまはガリラヤ中を旅して、…天国についてのすばらしい知らせを^の宣べ伝え、
…さらに、あらゆる種類の病気や病弱を治されました。…人々は病人を連れてやって来ました。
…悪霊にとりつかれた人であれ、てんかんの人であれ、中風の人であれ、一人残らず治るのです。 マタイ4:23-24



第8章

ある夜の事です。イエスさまの仲の良い友達が何人か、大きな湖を小舟で渡っていました。そこへ恐ろしい嵐がやってきました。風が激しく吹き、大きな波は次々と舟にぶつかります。

彼らは一晩中舟を岸边につけようとしたのですが、風があまりにも強いためなかなか思うように動かすことができませんでした。もう夜が明けそうだという時、ふと目をやると、なんと湖の水面を誰かがこっちに歩いて来るではありませんか。「お化けだ！」みな恐ろしさに震えてしまいました。

すると大きな声が聞こえました。「私ですよ。恐れることはありません」

イエスさまでした！

舟にいた一人、ペテロはイエスさまに向かって叫びました。

「イエスさま、もしあなたなら、水の上を歩いて来なさい、とおっしゃってください」

イエスさまは答えられました。「来なさい」

ペテロは舟を降り、イエスさまの方へ向かって湖の上を歩き始めました。

朝の4時ごろ、イエスさまが水の上を歩いて、弟子たちのところに行かれると、…ペテロが叫びました。「先生。もしほんとうにあなた様だったら、わたしに、水の上を歩いてここまで来い、とおっしゃってください。」
「いいでしょう。来なさい。」言われるままに、ペテロは舟ペリをまたいで、水の上を歩き始めました。

マタイ14:25,28-29



第8章

しかし、しばらくするとペテロは、周りの風や波が気になり始めました。そして怖いと思ったとたんに、彼の体は湖に沈みはじめたのです。さて、ペテロはその時何が出来たでしょうか？自分の力でもがき、浮き上がろうとすることも出来たでしょうか、または、イエスさまに助けを求めることも出来たでしょうか。

ペテロが本当に信じるべきだったのは、誰でしょうか？

ペテロは「自分の力では助かるはずがない！」と思いました。そしてイエスさまこそが自分を救ってくださる方だと知ったのです。ペテロが叫んだのはその時です。「主よ！私を助けてください！」

イエスさまは手をペテロに伸ばし、しっかりと抱きとめてくださいました。ペテロは正しい方を選んだのでした。

ペテロが自分の力で自分を助けることが出来なかったように、私たちも自分の力で罪の罰から助かることは出来ません。私たちには救い主が必要です。

イエスさまこそが私たちの救い主であり、私たちはイエスさまを信じるのが大切なのです。

ところが、高波を見てこわくなり、沈みかけたので、大声で、「助けてくれーっ」と叫びました。イエスさまはすぐに手を差し出してペテロを助け、「ああ、信仰の薄い人よ。なぜわたしを疑うのですか」と言われました。 マタイ14:30-31







8章の質問

1. 救い主として天国から来てくださったのは誰でしょうか？
2. 救い主となるために、神さまは人間の姿となりました。これはもう神さまでなくなったということですか？
3. 主は私たちを救うために、私たちと同じようにならなければならないということをご存知でした。では、この世に来られたとき、どんな姿だったのでしょうか？
4. 主は一人の赤ちゃんとして家畜小屋に生まれました。家畜小屋とは羊や赤ちゃん羊の小屋です。では、一番最初にこの赤ちゃんに会いに来たのはどんな人たちでしたか？
5. この世に赤ちゃんとして生まれてきた神さまは、何と言う名前を付けられましたか？
6. イエスという名前は、神さまこそ救い主、という意味です。つまりイエスさまはどういう人だということのでしょうか？
7. どうしてイエスさまは目が見えない人を見えるようにしたり、歩けない人を歩けるようにしたり、死んだ人を生き返らせたりなさったのでしょうか？
8. ペテロと友達が見た、水の上を歩いている人は誰だったのでしょうか？
9. ペテロが風や波に気を取られたとき、彼はどうなったのでしょうか？
10. ペテロは自分の力でもがくことも、またイエスさまに助けを求めることも出来ました。では、ペテロはどちらを選んだのでしょうか？

第9章

私たちの完全な小羊

アダムとエバとが最初に罪を犯したときから、神さまはいつかある日、救い主と呼ばれる特別な方を地上に送ってくださると約束してくださいました。その救い主は私たちを罪から来るさまざまなきしみ、そして「第二の死」からも救ってくださる方です。

とうとうその日がやってきたのですが、この地上に來られた救い主とは神さまご自身でした。この世界を造られた神さまが、救い主となられたのです。その名前はイエス、つまり「神さまこそ救い主」という意味でした。

この方以外には、だれによっても救われません。天下に、人がその名を呼んで救われる名は、ほかにないのです。使徒4:12



第9章

イエスさまはこの地上で生涯を送られました。友達の家を訪ねたり、働いたり、食事をしたり、眠ったり、いろいろなところに旅をしたり・・・私たち他の人間と同じように暮らされました。しかしイエスさまが私たちとまったく違っているところがありました。イエスさまは生まれてから、一度も罪を犯したことがなかったのです。

イエスさまは、まだ小さな男の子だった時でさえ、悪いことを一度もなさいませんでした。どんなに小さなことでも、です。イエスさまこそ完全な人、つまり一度も罪を犯さなかった、たった一人の人でした。

罪を一つも犯さなかったイエスさまですから、何一つ罰を受ける必要もありませんでした。イエスさまは死ぬ必要もなかったでしょう。なぜなら、罪を犯すからこそ、人間は死ななければならないからです。イエスさまはどんな罪も、一度も犯したことはありませんでした。

[イエスさまは] ご自分を通して神さまのもとに来る人々を、一人残らず、完全に救うことがおできになります。…彼はきよく、少しの欠点も罪のしみもなく、罪人によって汚けがされることもないからです。この大祭司のために、天では、名誉ある特別席が設けられているのです。普通の祭司は、神さまの前に出る時、まず自分の罪をきよめるために、そして人々の罪のために、毎日、動物のいけにえの血をささげる必要がありました。しかしイエスさまには、その必要が全くありません。 ヘブル7:25-27



第9章

死ななくても良いイエスさまでしたが、人々にこういうお話をされました。ある日、たくさんの人々がイエスさまを捕まえ、むちで打ち、木で出来た十字架に釘で打ちつけて殺すだろう、と。イエスさまが自分は死ぬだろう、とおっしゃるのです。しかし死んで三日目に、再び生き返るだろうとも言われました。

このイエスさまの話を聞いた人々は信じられませんでした。そして、そんなことはもう言わないでください、と言いました。

しかしイエスさまのこの話は本当のことでした。イエスさまは友達に神さまのご計画の最後の部分について話されたのです。素晴らしい良い知らせを。

実に神さまは、ひとり子をさえ惜しまず与えるほどに、世を愛してくださいました。それは、神さまの御子を信じる者が、だれ一人滅びず、永遠のいのちを得るためです。ヨハネ3:16

その時から、イエスさまは、ご自分が、エルサレムに行くことと、そこでご自分の身に起こること、すなわち、ユダヤ人の指導者たちの手でひどく苦しめられ、殺され、そして三日目に復活されることを、はっきり弟子たちに話し始められました。マタイ16:21



第9章

これが神さまのご計画、小羊についてのお話です。

みなさんは小羊について覚えていますか？私たちはどのようにして小羊を連れてくれば良いのでしょうか？——

今は、神の小羊と呼ばれるイエスさまがおられます。

その小羊はオスでなければならないことを思い出してください。

———そうです、イエスさまは男の人でした。

その小羊は完全な傷のない小羊でなければなりませんでしたね？

———そうです、イエスさまは完全な人でした。一度も罪を犯したことがありませんでした。

ヨハネは、イエスさまが来られるのを見て、言いました。「御覧なさい！この方こそ、世の人々の罪を取り除く神の小羊だ。」 ヨハネ1:29
一点の罪も、しみもない神さまの小羊…。 1ペテロ1:19



第9章

では、その小羊が祭壇という特別な死の場所へ連れて来られることを思い出してください。

———そうです、イエスさまは人間としてこの地上で生活されましたが、ある人々に捕まえられて十字架という、特別な死の場所に連れて行かれたのでしたね。

祭壇に小羊を連れてきた人は、自分の手を小羊の頭の上に置いたことを覚えていますか？それはその人の罪が全部小羊の上に移ったというしるしです。

———聖書には、こう書いてあります。イエスさまが十字架に釘で打ち付けられたとき、私たち人間のすべての罪が私たちを離れ、イエスさまの上に移った、と。つまりイエスさまは、ものすごく悪い人の罪ばかりではなく、私たちみたいな普通の男の子、女の子、お母さん、お父さんが犯してしまった罪まで、全部背負ってくださったのです。

今まで誰も聞いたことがないような汚い言葉を、イエスさまは聞きました。今まで誰も経験したことがないようなひどい事を、イエスさまは味わいました。今まで誰もされたことのないような怒鳴られ方を、イエスさまはされました。今まで誰も味わったことがないような痛みを、イエスさまは受けました。罪が運んでくる、言葉に出来ないような恐ろしさを、イエスさまは私たちの身代わりになって受けてくださいました。イエスさまはその痛みも、その苦しきもすべて私たちの身代わりになって受けてくださったのです。どんなに苦しく、こわいことだったでしょうか。まるで

あの祭壇の前の小羊のよう……。

そう、イエスさまは小羊、私たちの小羊なのです。



第9章

さて、このお話も終わりに近づきました。みなさんは小羊にこの後何が起こったか覚えていますか？小羊は罰を受けるのでしたね。なぜなら罪を犯した罰は、死ぬことだったからです。だから小羊は罪人の身代わりに殺されるのでした。

イエスさまにも同じことが起こりました。

私たちの罪がすべてイエスさまの上に移ったとき、イエスさまはその罰を受けられました。つまり、イエスさまは死なれたのです。

聖書は、イエスさまが殺されたのは、私たちの身代わりとなったからだ、と書いてあります。イエスさまが私たちの身代わりとなって死んでくださったので、私たちは永遠に第二の死を迎えなくて良くなったのです。

イエスさまは最後の小羊です。もう祭壇に小羊を連れてくる必要はありません。イエスさまがすべてを終わらせてくださったのですから。

神さまは、こうしてその約束を果たしてくださったのです。

神の小羊であるイエスさまは、私たちのためにすでに殺されたのです。 1コリント5:7

…神さまは、罪のないイエスさまに私たちの罪を背負わせ、それと引き換えに、
私たちに恵みを注いでくださったからです。 2コリント5:21

神さまは、私たちをご自分の怒りから救い出すための手段として、
イエスさまの血と私たちの信仰とをお用いになりました。 ローマ3:25



9章の質問

1. イエスさまはこの地上で、私たちと同じ人間として生きられました。しかし、私たち人間とまったく違うところがありました。ではイエスさまが一度もしたことがなかったことは、何だったのでしょうか？
2. 罪がこの世界に死というものを運んできました。しかし一度も罪を犯したことがないイエスさまは、死ななければならなかったのでしょうか？
3. イエスさまはこうおっしゃいました。もうすぐ人々がイエスさまを殴ったり、木で出来た十字架に釘で打ちつけて、殺すだろう。しかし死んでから三日目に生き返る、と。今から起こることを、どうしてイエスさまはご存知だったのでしょうか？
4. 聖書には、イエスさまはまるで祭壇に連れてこられた小羊のようだった、と書かれています。このことから、イエスさまは何と呼ばれるようになったのでしょうか？
5. 祭壇に連れて来られる小羊は、傷のない完全な小羊でなければなりません。では、イエスさまはどのようなふうに完全だったのですか？
6. 小羊が連れて来られる祭壇は、特別な死の場所でした。では、イエスさまが連れて行かれて死なれたのは、どんな特別なところだったのでしょうか？
7. 私たちのすべての罪がイエスさまの上に移ったとき、イエスさまはどうならなくてはいけなかったのでしょうか？
8. 聖書には、イエスさまが私たちの身代わりになって罰を受けてくださった、と書いてあります。では、罰を受けなければならない罪はまだ何か残っていますか？
9. どうして私たちは祭壇に小羊を連れて来なくて良くなったのでしょうか？





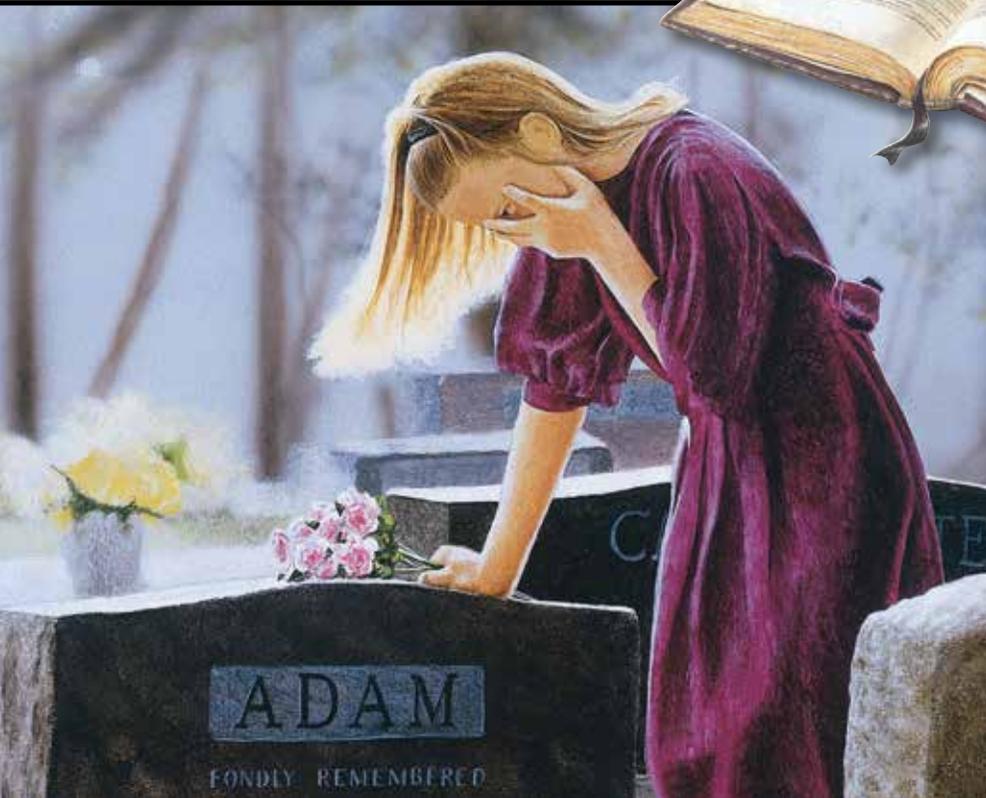
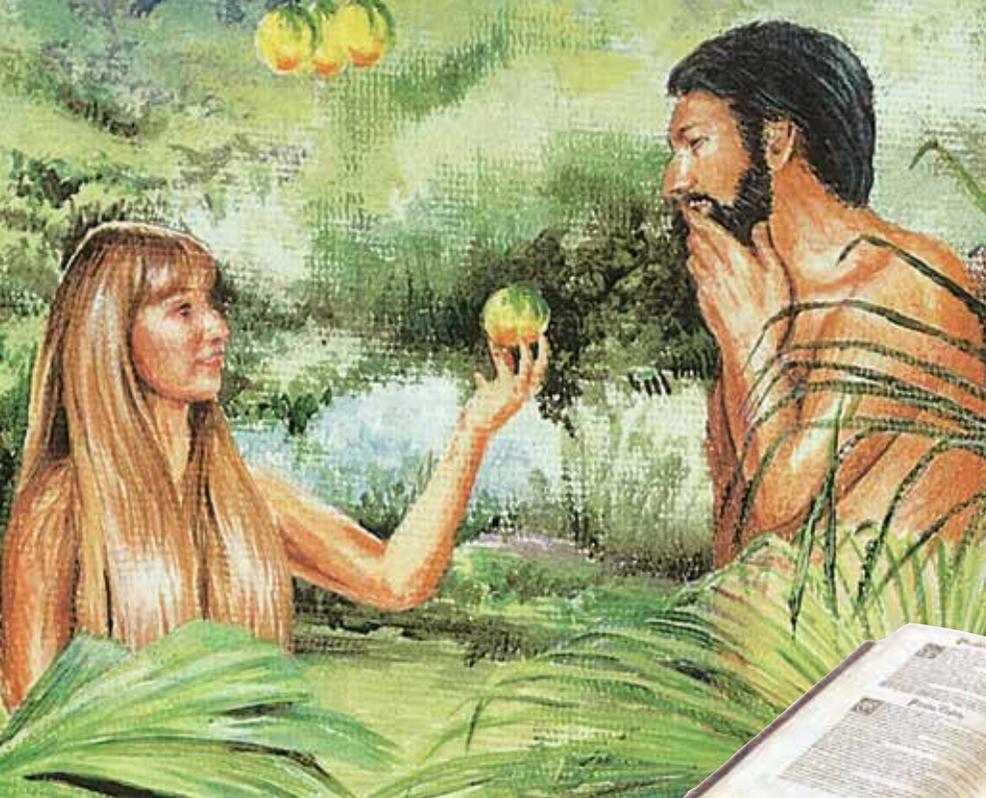
第十章

永遠に生きる

昔々はるか昔、神さまは私たち人間が罪の裁きを受けなくてすむように、一人の救い主をこの世に送ってくださると約束してくださいました。その救い主は人々を第二の死から救い出してくださいさるということです。

神さまは人々に小羊を連れて来るように命じられました。それは自分たちの罪の裁きがどういうものかを、私たち人間に教えるためでした。

羊の場合は、天幕の入口で羊の頭に手を置き、殺す。 レビ記3:7-8



第十章

さて、ここで考えてみましょう。昔、人々は自分たちの罪のために小羊を祭壇に連れて行かなければなりませんでした。では、私たちにも小羊がいるのでしょうか？

はい、そうですね。私たちの小羊は、イエスさまです。イエスさまは「神の小羊」と呼ばれることもあります。

祭壇に連れて行く小羊は、傷のない完全な小羊でなければなりませんでした。さあ、聞いてください。この世界でただ一人、一度も罪を犯したことのない完全な人がいました。それは誰のことでしょうか？

そのとおり。イエスさまです。イエスさまは私たちの完全な小羊です。

昔、人々はそれぞれ自分の小羊を、祭壇という特別な死の場所に連れて行かなくてはなりませんでした。では、私たちの小羊であるイエスさまが連れて行かれて、釘で打たれた特別な死の場所とは、どこだったのでしょうか？

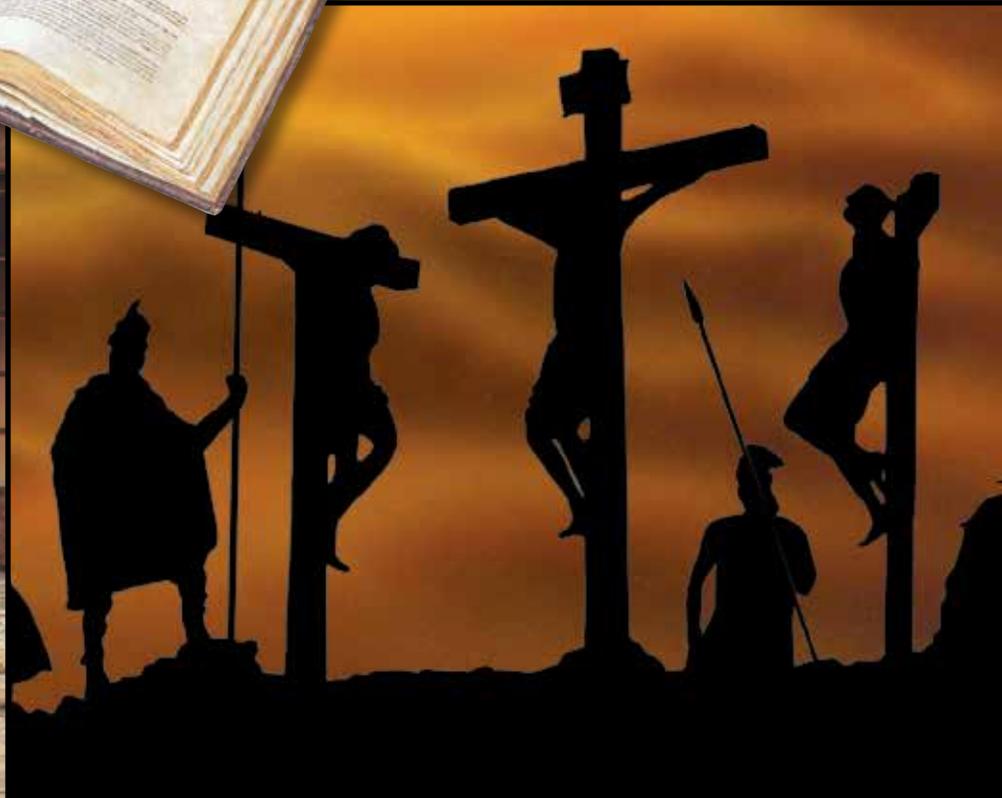
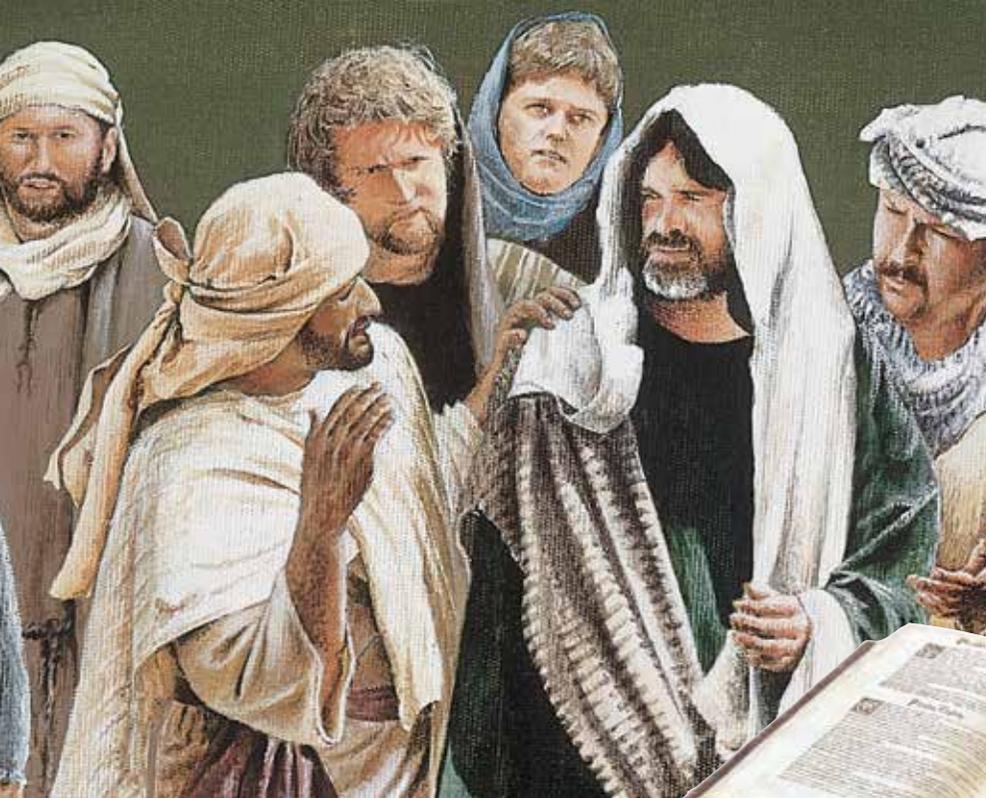
木で出来た十字架でした。

さて、今度の質問はとても大切です。その小羊は、すべての人々の罪の身代わりになったということを知っていますか？では、よく考えてください。イエスさまが身代わりになってくださったのは、一体誰の罪だったのでしょうか？

そうですね。私たちみんなの罪です。

小羊が人間の罪の身代わりになるということは、死ななければならないということでしたね。では、私たちの身代わりになって死んでくださったのは、誰でしたか？

そうです。イエスさまです。イエスさまは私たちのために死んでくださいました。



第十章

イエスさまが十字架に釘で打ち付けられたとき、すべての人間…男の子、女の子、お母さん、お父さんたちが犯した罪が一つ残らずイエスさまの上に移りました。何一つ罪を犯さなかったイエスさまは死ぬ必要はありませんでした。しかし、そういう完全な人だったからこそ、私たちの身代わりとなることができたのです。完全な人でなければならなかったのです。

私たちの罪のために、イエスさまは死なれました。

イエスさまは私たちの身代わりになって死ぬことを選び、そのおかげで私たちは自分たちが犯した罪の罰を受けなくてすみしました。

イエスさまこそが救い主です。

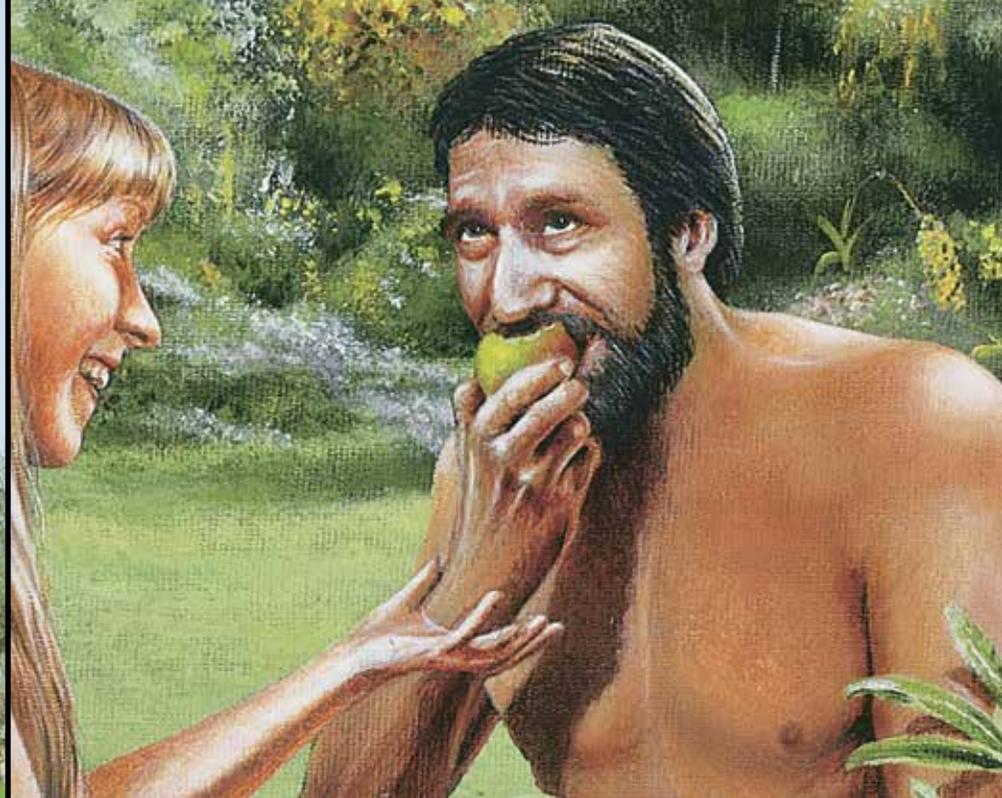
彼は…ただのひと言も口にしませんでした。小羊のようにおとなしく^{とさつじょう}屠殺場へ引いて行かれ…。 イザヤ53:7

罪の支払う報酬^{ほうしゅう}は死です。しかし、神さまがただで下さる贈り物は、私たちの主キリスト・イエスによる永遠のいのちです。 ローマ6:23

あなたがたは、神さまの寛容さのゆえに、イエスさまを信じることによって救われたのです。しかも、そのイエス様を信じることすらも、あなたがたから自発的に出たことではありません。それもまた、神さまからの贈り物なのです。救いは、私たちの良い行いに対する報酬ではありません。ですから、だれ一人、それを手柄として誇ることはできません。 エペソ2:8-9

あなたがたは、以前は罪の中で死んでおり、罪深い欲望を断ち切ることもできませんでした。そんなあなたがたに、神さまはイエスさまのいのちそのものを、分け与えてくださったのです。…すべての罪を赦し…。 コロサイ2:13

この新しい計画にそって、(イエスさまは)ただ一度死なれ、それによって、私たちは罪を赦され、きよく[完全に]されているのです。 ヘブル10:10



第十章

さて、もしもこのお話が、イエスさまが十字架で死なれたところで終わってしまうのだったら、なんて悲しいお話でしょう。

しかし、聖書はその続きを教えてください。イエスさまが死なれた後、お友達はその体をゆっくりと十字架から下ろしたとあります。どんなに悲しかったでしょうね。胸が苦しくてたまらなかったでしょう。彼らはイエスさまの体をお墓と呼ばれる特別なほら穴の中に横たえました。そして大きな大きな岩をゆっくりと転がして、その入り口をふさぎました。そうして彼らは泣きながら自分の家に帰っていったのです。

さて次の日のこと。イエスさまを殺した人たちは、兵隊たちにイエスさまのお墓の見張り番をするように命令しました。イエスさまが生きているころ、死んで三日目に生き返るとおっしゃっていたのを聞いていたので、誰かがイエスさまの体を隠して、まるで本当に生き返ったと言いつらすのを防ごうと思ったのです。イエスさまはもう死んでしまい、お墓の中にずっといる、ということにしたかったのです。



刑場の近くに、木の生えている園があり、そこには、さいわい新しい墓がありました。
…イエスをその墓に納めました。ヨハネ19:41-42

翌日の安息日に、祭司長やパリサイ人たちがピラトに願い出ました。「総督閣下。
…弟子どもが死体を盗み出し、イエスは復活したと言いつらしては、まずいことになりかねません。
…ですからどうぞ、墓を三日目まで封印するように命令を出してください。」

ピラトは答えました。「よろしい。では神殿警備員に、厳重に見張らせるがよい。」そこで彼らは、石に封印をし、
警備員をおいて、だれも忍び込めないようにしました。マタイ27:62,65-66



第十章

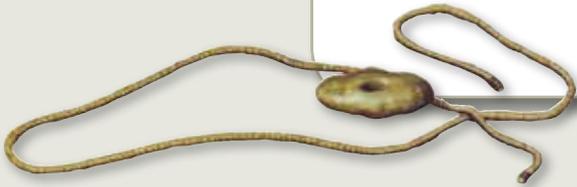
しかし兵隊たちも神さまを止めることはできません。大きな岩も、神さまの力には勝てません。神さまのご計画は誰にも止められないのです。イエスさまご自身がおっしゃったとおり、イエスさまは死んで三日目に生き返られたのです！よみがえられたのです！

兵隊たちは恐ろしさのあまり死んだように倒れてしまいました。天使たちは大きな岩を転がしました。誰が見てもお墓は空っぽ、どこにもイエスさまの体はありません。そのあと40日間、イエスさまは仲のよいお友達や、大勢の人々に姿を現しました。だれもがみんな大騒ぎです。イエスさまは前と同じようにみんなと一緒にいて、お話したり、食事をしたり、旅行をしたりされたのです。なんて素晴らしいのでしょうか！

突然、大きな地震が起きました。主の使いが天から下って来て、墓の入口から石を転がし、その上に座ったからです。…警備員たちはその姿を見て震え上がり、まるで死人のようになって、へなへなと座り込んでしまいました。 マタイ28:2-4

その御使い^{みつか}がおもむろに口を開きました。「そんなに驚くことはありません。十字架につけられたナザレのイエスさまを捜しているのでしょうか。あの方はもうここにはおられません。復活されたのです。 マルコ16:6

…四十日にわたって、イエスさまは何度も使徒たちに姿を現わされました。自分が、まぎれもなくイエスであることを、さまざまな方法で証明なさったのです。またそのつど、神の国のこともお話しになりました。 使徒1:3





第十章

最初みんなはなかなか信じられませんでした。今までこんなことは起こったことがなかったからです。一度死んだ人間が、ふたたび生き返るなんて。なんてすごい力でしょう！

イエスさまは生き返ることによって、死よりも強いのだということを人々に見せたのです。そうです、死ぬことや、死んだ後サタンの待つ恐ろしい場所へ行かなくてはならないと、恐がらなくてもいいのです。もう、みんな、第二の死を恐れなくても良いのです。

イエスさまは、死んだ人を命へと導いてくださる力を持った方です。

しかし、この地上に生き返らせることはなさいません。なぜならこの地上は罪で満ちあふれているからです。イエスさまが連れて行ってくださるのは天国です。素晴らしく完全な、幸せに満ちあふれた天国です。

イエスさまは誰でも、イエスさまが神の小羊であると信じる人を、天国の命へと導いてくださると約束してくださったのです。

「どんなことがあっても、心配したりあわてたりしてはいけません。神を信じ、何もかも、わたしに任せなさい。父の住んでおられる所には、家[屋敷]がたくさんあります。…あなたがたを迎える家を準備しに行くのです。すっかり準備ができたら、迎えに来ます。わたしがいる所に、いつでも、いられるようにしてあげるためにです。」 ヨハネ14:1-4



第十章

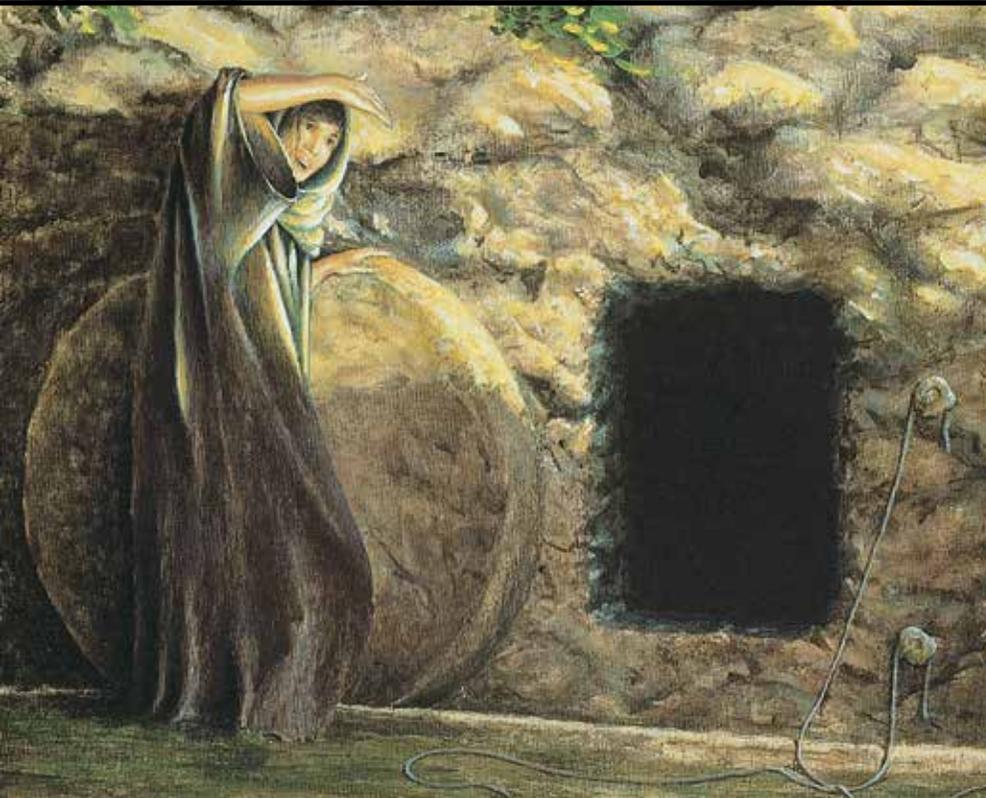
さて、今からお話しすることはとても大切なことです。あなたはイエスさまが何とおっしゃったか、聞いたことがあるでしょう？その意味が分かりますか？

イエスさまはこうおっしゃっています。だれでも、たとえ男の子であっても女の子であっても、お母さんであってもお父さんであっても、イエスさまが自分の身代わりとなって死んでくださったと信じるのなら、イエスさまと一緒に天国で永遠に生きることができる、と。

それは本当に簡単なことです。

ただ、イエスさまが私たちの罪の身代わりとなって死んでくださった神の小羊だと信じるだけで良いのです。イエスさまのことを信じ、その約束が本当のことだと信じるだけで、すべての男の子、女の子、お母さんもお父さんも、この地上での命が終わったあと、イエスさまが一人一人を完全な人に変えてくださり、そして天国での命を与えてくださるのです。

主は、大号令と、天使長の声と、神の召集ラッパの響きと共に、天から下って来られます。その時、まず最初に復活して主にお会いできるのは、すでにこの世を去っているクリスチャンです。それから、なお生きて地上に残っている私たちが、いっしょに雲に包まれて、空中で主とお会いするのです。そして、いつまでも主と共に過ごすことになります。ですから、このことをわきまえて、互いに慰め合い、励まし合いなさい。 1テサロニケ4:16-18



第十章

イエスさまのお話を聞いた人々は、大喜びでした。この素晴らしい知らせは、すべての人に教えてあげなければ、と思いました。そこでみな、イエスさまと長い時間をかけて、この神さまのご計画について話し合いました。さてそれから40日後のこと、イエスさまはみなにさようならを告げ、天国へと昇っていかれました。そしてイエスさまは完全な素晴らしい天国で、今も生きておられます。

さて、聖書に書かれているお話はこれで終わりです。

聖書は神さまの愛にあふれた、神さまからの手紙です。そしてもちろん、神の小羊のことが書いてある手紙でもあるのです。

神さまの言われたこととは、何でしょう。それは、神さまが私たちに、永遠のいのちを与えてくださったこと、また、永遠のいのちが神の子のうちにあるということです。そういうわけで、神の子を信じる人には、いのちがあり、信じない人にはないのです。 1ヨハネ5:11-13
イエスさまのなされたことは、ほかにもたくさんあります。それをいちいち書き記すとしたら、全くきりがありません。世界中が本であふれるほど書いても、それでもまだ足りないと思います。 ヨハネ21:25



10章の質問

1. 昔、人々は小羊を祭壇に連れて来る必要がありました。では、私たちの小羊とは誰のことでしょうか？
2. 祭壇に連れて来る小羊は、傷のない完全な小羊でなければなりません。この世界で、ただ一人だけ一度も罪を犯したことがない人がいました。それは誰でしょうか？
3. 小羊は祭壇という、特別な死の場所に連れて来られました。では、イエスさまが連れて行かれた特別な死の場所とはどういうところだったのでしょうか？
4. 小羊の上に、その人の罪がすべて移ったことを思い出してください。では、イエスさまに移った罪は、一体誰が犯した罪だったのでしょうか？
5. その人の罪の身代わりとなった小羊は死ななければなりません。では誰が私たちの身代わりになって死んでくださったのですか？
6. 小羊はその人の身代わりになって殺されました。ではイエスさまは誰の身代わりになって死んでくださったのでしょうか？
7. 死んだ後、イエスさまの体は特別なほら穴に入れられ、その入り口には大きな岩でふたをしました。その洞穴は何と呼ばれるところですか？
8. イエスさまが死んで三日目、どういうことが起こったのでしょうか？
9. イエスさまは人々に生き返った姿を見せ、みんなもイエスさまと同じように生き返らせてあげることができるのだ、と教えてくださいました。では、イエスさまは生き返った人々をどこに連れて行ってくださるのでしょうか？
10. イエスさまは完全で素晴らしい天国に連れて行くためには、私たちがしなければならないことがあるとおっしゃいました。それはどういうことでしょうか？
11. その時人々がしなければならなかったのは、もう二度と悪いことはしない、という約束でしたか？
イエスさまが私たちの救い主である、と信じることでしたか？
悪いことをしても、それよりもたくさん良いことをしなす、という約束でしたか？
12. 神さまは、イエスさまが私たちの小羊となって、私たちの罪の身代わりに死んでくださったと信じるなら、誰でも天国に行くことができる、とおっしゃいました。本当にそうでしょうか？



神さまの手紙の意味が分かりましたか？

神さまの手紙はとても大切なことが書かれています。みなさんはきちんと分かったでしょうか？今から簡単なテストをします。神さまの救いのご計画について分かっていることがあれば、教えてください。もし間違ったりしても構いません。心の中ではっきりと分かるまで、このお話を何度も聞いてくださいね。

1. 神さまはことばだけでこの世界のすべてを造られました。このことから、神さまはどういう方だということが分かりますか？
2. 神さまだけが、完全な世界を造ることが出来ました。それはなぜでしょうか？
3. ルシファーは神さまに逆らうことを選びました。このことは聖書で何と呼ばれていますか？
4. 悪いことをして、そのまま逃げてしまうとしたら、それは許されないことです。どうしてでしょうか？
5. 神さまがサタンとその手下の悪い天使たちのために造られた特別な場所は何と呼ばれるところですか？
6. アダムとエバは神さまの言うことを聞きませんでした。そのことを聖書では何と呼んでいますか？
7. この世界に罪が運んできたのは、何でしょうか？
8. アダムとエバは罪を犯してしまったので完全な者でなくなりました。そして死んだ時にはサタンのいる恐ろしい場所に行かなくてはなりません。この一度死んだ後に起こるもう一つの死のことを、聖書では何と呼んでいますか？
9. 神さまはいつか、すべての人間を第二の死から救う一人の特別な人を送ってくださると約束されました。この人は何と呼ばれているのでしょうか？
10. どうして人間は完全にならなければ天国に行けないのでしょうか？
11. 神さまはアダムとエバが罪を犯したのに、それを知らないふり、まるでなかったようなふりをする事ができるのでしょうか？
12. 神さまは人間に罰を与えずにすむ方法を人々に教えました。その時連れて来なさいと言われた動物は何でしたか？
13. その人が小羊の頭に手を置くとき、その人の罪はどうなるのですか？
14. 小羊は誰の身代わりになって死んだのですか？
15. 何も悪いことをしなかったのに、どうして小羊は死んだのですか？
16. もし神さまを信じるなら、その人は死んだ

後天国に行くことが出来ます。神さまは完全な天国にすむことが出来るように、その人をどういうふうに変えてくださるのですか？

17. もし私たちが良い人になろうとしたり、悪いことを一つも考えたりしないようにがんばったら、私たちは天国に行くことが出来るような完全な人になれるでしょうか？
18. 誰が救い主としてこの地上に来てくださいましたか？
19. イエスさまは一度も罪を犯しませんでした。イエスさまは死ななければなりませんでしたが？
20. 聖書には、イエスさまは祭壇に連れて来られた小羊のようだ、と書いてあります。そういう意味のあるイエスさまの呼び名は何でしょうか？
21. 人間のすべての罪が小羊の上に移されたか、思い出してください。イエスさまの上に置かれたのは、誰の罪ですか？
22. 小羊は、その人の身代わりになって殺されました。では、イエスさまは誰の身代わりになって死なれたのでしょうか？
23. イエスさまは死んだ人々を生き返らせて天国に連れて行ってくださる、と言われました。完全な天国に住むために、私たちは何をしなくてはならないのでしょうか？



神さまの手紙を信じますか。

すべての質問に正しく答えたなら、それは神のご計画を理解したからです。神の手紙の言うことがわかったからです。それはとても大切なことです。多くの人は年をとっても、聖書が何について書かれているのかわかりません。

神の手紙を理解することはとてもよいことです。答えなければならない一つの大きな質問があります。神がおっしゃったことは本当であると、あなたは信じますか。

これらの質問に答えてみてください。あなたが神の手紙を信じているか、わかるようにしてくれます。

◆ イエスさまはどなたであると、あなたは信じますか。ただのよい人でしょうか、それともそれ以上のお方でしょうか。

◆ イエスさまはどなたであると、あなたは信じますか。ただのよい人でしょうか、それともそれ以上のお方でしょうか。

◆ 神はあなたの罪を無視してくださると信じますか、それともあなたの罪は罰せられなければならないと信じますか。

◆ どなたが、あなたの代わりに罰せられましたか。

◆ どなたがあなたの小羊であると信じますか。

◆ イエスさまはあなたを愛して、あなたの罪を背負ってくださったことを信じますか。

◆ イエスさまは死なれた後、よみがえってくださり、今永遠に生きておられます。あなたはそのことを信じますか。

もしあなたが、これらの質問に正しく答え、それらが本当であると信じるなら、あなたの罪の罰は過ぎ去りました。それほど簡単なことなのです。第二の死や火の池を恐れる必要は全くありません。

神のおっしゃったことが本当であると信じたので、あなたは神に信頼しています—あなたは今、神の側にいます。神はあなたを決して離れないと約束してくださいます。あなたがどこへ行こうと何をしようと、いつも一緒にいてくださいます。

あなたがこの地上の生涯を終える時、天国で完全にしてくださる—永遠に神と共に住むとおっしゃっておられます。本当に神は、そのおつもりなののでしょうか。

このことが、今この時とても幸せになれることなのです。確かに知ることができることです。なぜなら神がそうおっしゃったからです。神は嘘をおつきになりません。

おそらくこの本は、あなたが抱いていた疑問に答えたことでしょう。神は、私たちを助けるために、多くのことをお書きになりました。神の私たちへの手紙で、もっと知ることができます。聖書は答えで満ちているのです。

誰かがあなたに特別なことをしてくださったら、あなたはその人に感謝します。聖書によれば、

友が友に語るように、私たちはいつでも主に語るすることができます。

ここにあるのは、イエスさまがあなたにしてくださったことのゆえに、イエスさまに「ありがとう」と言う時の言葉です。二度その言葉を聞いて、それから自分の言葉でイエスさまに感謝してください。神はどこにでもおられて—聞いていてくださることを覚えてください。

「親愛なるイエスさま。あなたが神で、すべてのものを造られたことを知っています。あなたに信頼します。私は罪人です。あなただけが私を救うことのできる方です。あなたが私の罰を引き受けてくださったことを信じます。あなたは私の代わりに死んでくださいました。私をそれほど愛してくださってありがとうございます。一緒にいるように天国に私を連れて行ってくださるというお約束を、あなたは守ってくださいることを知っています。」

イエスさまは、すばらしい救い主です。

終わり

1章 質問と答え

1. 聖書は私たちに送られたとても大切な手紙です。この手紙を書いたのは誰ですか？ **神さま**
2. 聖書を読むと、神さまは誰からも何からも生まれなかったと書いてあります。では、神さまはいつか死ぬでしょうか？ **いいえ**
3. 世界の一番最初、誰か神さまと一緒にいましたか？ **いいえ**
4. 誰が天使たちを創造されましたか？ **神さま**
5. 創造、ということばの意味は何でしょうか？ **何かを作ること**
6. 私たちは神さまや天使たちのすがたを見ることはできません。目で見ることができない神さまや天使たちのすがたを何と呼びますか？ **霊**
7. 天使たちの特別な仕事は何ですか？ **神さまのメッセンジャー**
8. 私たちは何かを作るとき、金づちや釘を使います。では神さまはこの世界をどうやって造られたのでしょうか？
神さまはただ語られました。
9. 神さまはことばだけでこの世界のすべてを造られました。そのことから神さまがどういう方であるか分かりますか？
神さまはとても、とても力強いお方です。
10. 神さまはこの世界を何日間で造られましたか？ **6日**
11. アダムとエバを造ったのは誰でしょうか？ **神さま**
12. 神さまはいつもあなたのそばにおられるし、その同じ時間にずっと離れたところにいるあなたの家族や友達のそばにもおられます。どうして神さまはそういうことができるのでしょうか？
神さまは同時に、どこにでもおられます。

2章 質問と答え

1. 神さまが造られたこの世界を見回すと、神さまは何でもおできになる方だと分かります。では、神さまはいろんなことについての位知っているのでしょうか？ **すべてのこと**
2. この世界は誰のものですか？ **神さま**
3. どうしてこの世界が神さまのものだといえるのでしょうか？
神さまがそれを造られました。

4. 神さまはこの世界をきたなく造ることもできましたが、神さまはとても美しく造ってくださいました。それはどうしてだと思えますか？ **神さまは私たちを愛しておられ、楽しんでほしいと思われました。**
5. 神さまは世界のすべてのものがきちんと正しく働くように、ルールを造られました。もしルールがなかったら世界中いろんなところで、どんなことが起こるのでしょうか？
不幸で混乱した、不安な場所
6. 間違ったところや足りないところが何もなく、すべてが素晴らしい、ということは何と言うのでしょうか？ **完全**
7. なぜ、神さまは完全な世界を造ることができたのでしょうか？
神さまは完全であられるから。
8. 神さまは完全なところに住んでおられます。そこは何と言うところでしょうか？ **天国**
9. 聖書には天国がどんなところか書いてあります。その中で3つ、教えてください。 **46ページを見てください。**

3章 質問と答え

1. 神さまが造られた天使たちの中で、一番位の高かった天使の名前は何か？ **ルシファー**
2. 神さまはルシファーに、特別な仕事を与えておられましたか？
はい
3. ルシファーは神さまから頼まれた仕事を喜んでしていましたか？
いいえ
4. ルシファーはどうなりたと思ったのでしょうか？
神さまになりたかった。
5. ルシファーは神さまのルールを守らず、自分勝手に生きたいと決めました。聖書では、そのことを何と呼んでいますか？ **罪**
6. どうしてルシファーは神さまのようになりたと思ったのですか？
自分が神さまより賢いと思い、神さまよりよく知っていると思ったから。
7. 悪い考えや、悪い行いはすべてなんと呼ばれますか？ **罪**
8. もし誰かが何か悪いことをしても、そのまま逃げてしまえばそれで済むと思えますか？ **いいえ**

9. 悪いことをしてそのまま逃げってしまうのは、どうしていけないのでしょうか？ **それは公平ではありません。すべての悪は罰せられなければなりません。**
10. 神さまはいつも公平ですか？それとも時々不公平なときがありますか？ **いつもです。**
11. 神さまは完全な方ですから、悪いことをした天使たちと一緒にいることはできません。そこで神さまは悪い天使たちをどうなさいましたか？ **神さまは天から彼らを投げ出されました。**
12. 神さまはルシファーの名前をサタンという名前に変えました。それはどういう意味ですか？ **敵**
13. 神さまはサタンと彼に従った悪い天使たちのために一つの場所を造りました。そこは何と呼ばれる場所ですか？ **火の池**
14. サタンたちのいる場所は良いところですか？ **いいえ**
15. 神さまに従ったたくさんの良い天使たちが住んでいる場所はどこですか？ **天**

4章 質問と答え

1. アダムとエバを愛してくださった神さまは、二人のために素晴らしい特別な場所を造って下さいました。それはどんなところですか？ **園**
2. 神さまはアダムとエバに決まりを与えられましたが、それは一体いくつあったのでしょうか？ **一つ**
3. アダムとエバに神さまが与えられた決まりはどんな決まりでしたか？ **一つの木から、実を食べてはならないとおっしゃいました。**
4. もしその決まりを破ると、アダムとエバはどうなってしまうと神さまはおっしゃいましたか？ **死ぬとおっしゃいました。**
5. アダムとエバがもしその木の実を食べたら、誰かのようになれる、とサタンは言いました。その誰か、とは誰のことでしょうか？ **神さまのようになる**
6. サタンがアダムとエバに言ったことは、本当のことですか？それとも嘘でしょうか？ **うそ(嘘)**
7. アダムとエバは神さまの決まりに従いましたか？ **いいえ**
8. 聖書はアダムとエバが神さまに従わなかったことを、一つのことで呼んでいます。それは何でしょうか？ **罪**

9. 罪がこの世界に生まれたとき、何を運んだでしょうか？ **死**
10. 聖書によると、死んだ人は空の星になると書いてありますか？それとも、親しい友達や家族から永遠に引き離されてしまう、と書いてありますか？ **友から永遠に引き離されてしまう。**
11. 神さまはアダムとエバの二人がサタンのいる場所で住むことを望まれました。そこで二人がまたもとのように完全になれるようにして下さるとおっしゃいました。どうして神さまは二人のためにそうして下さるのでしょうか？ **神さまは彼らを愛されたからです。**

5章 質問と答え

1. アダムとエバはサタンの方についてしまいました。そのため二人はいつか死ぬことになり、神さまと永遠に離され、サタンのいるあの恐ろしい場所に行かなくてはならなくなりました。そのことを聖書では何と呼んでいますか？ **第二の死**
2. 神さまは二人が完全な天国で神さまと一緒に暮らせるように、と望まれました。神さまは何を思い付かれたのでしょうか？ **神さまには、ご計画がありました。**
3. 神さまはアダムとエバの二人に、そのご計画をすべてお話ししましたか？ **いいえ**
4. 神さまは人間たちを第二の死から救う一人の人を送って下さると約束されました。その人は何と呼ばれる人でしょうか？ **救い主**
5. アダムとエバは神さまの約束を信じましたか？ **はい**
6. ジョンがおじいさんを信じたのは、なぜでしょうか？おじいさんは絶対に助けてくれると信じたからですか？それとも、おじいさんが長靴を履いていたからそう信じたのでしょうか？ **おじいさんは助けてくれると信じたから。**
7. おじいさんが助けてくれると信じたのは、おじいさんが自分のことを愛してくれていると思ったからでしょうか？それともその時他に用事がなかったから助けてくれるに違いない、と思ったからでしょうか？ **おじいさんが自分のことを愛してくれていると思ったから。**

8. もう少しでおぼれそうだというとき、ジョンはおじいさんに「これから絶対に良い子になるから助けて」と約束しましたか？
いいえ
9. 神さまがアダムとエバに救ってくださるという計画を教えてください。さったとき、アダムとエバはもう絶対に悪いことをしないという約束をしましたか？ **いいえ**
10. ジョンのおじいさんは「私を信じなさい」と言いましたか？ **はい**
11. 神さまは人間たちに「私を信じなさい。そうすればあなたが死んだとき、もう一度完全な者に造り変えてあげよう」とおっしゃいましたか？ **はい**
12. なぜ人間は、天国に住むために、完全な人に作り変えられなければならないのでしょうか？
完全な人だけが、完全な神と過ごせるから。

6章 質問と答え

1. 神さまはなぜアダムとエバに罰を与えたくないと思われたのですか？ **彼らを愛されたから。**
2. 神さまはアダムとエバの犯した罪を見ない振りをして知らん顔をすることができたのでしょうか？ **いいえ**
3. 神さまは罪を犯した人間たちに、どのようにしたら罰を受けずにその罪を償えるかを教えてくださいました。その時、連れて来なさいと命じられた動物は何だったのでしょうか？ **小羊**
4. その小羊は、オスでしたか？メスでしたか？ **オスでした。**
5. 足が悪かったり、病気や毛が抜けてしまっている小羊でも良かったですか？ **完全な小羊でなければなりませんでした。**
6. その小羊が連れて行かれる特別な死の場所とは、何というところでしたか？ **祭壇**
7. 小羊を連れてきた人は、その手を小羊のどこに置かなければなりませんでしたか？ **頭の上**
8. その手を小羊の頭の上に置くというのはどういう意味があったのでしょうか？ **その人の罪が小羊に移りました。**
9. その人のすべての罪を移された小羊は、その後どうなったのでしょうか？ **死ななければなりませんでした。**

10. 小羊は何一つ悪いことをしていなかったのですが、何か罰を受けなければならなかったのでしょうか？ **いいえ**
11. 聖書には、罪のための罰は死である、と書いてあります。では、小羊は誰の身代わりになって殺されたのでしょうか？
その人の代わり
12. なぜ何も悪いことをしていないのに、小羊は死ななければならなかったのでしょうか？ **その人の罪を背負ったからです。**
13. 人間は神さまが命じられたとおりにしました。小羊を連れてきなさいといわれて、その通りにしたのです。では、人間が神さまの言われたとおりにしたのは、神さまの言葉を信じたからですか？それとも神さまは小羊が嫌いだから、と思ったからですか？
神さまを信じたから。
14. もし神さまを信じるなら、その人は死んだ後天国に行くことができます。神さまは人間をどのように変えてくださるのでしょうか？
神さまは完全にしてくださいます

7章 質問と答え

1. 人々が罪を犯すとき、神さまはそれがなかったふりをすることができますか。 **いいえ**
2. どのように人を罰しないで罪を罰するのがわかるように、神さまはあることをするようにお求めになりました。何を連れてくるように人々にお求めになりましたか。 **小羊**
3. 小羊を連れてきた人は、その頭に手を置きました。このことは何を表わしましたか。 **罪が小羊の上に置かれました。**
4. 人の罪を背負ったので、小羊はどうならなければなりませんでしたか。 **死ななければなりませんでした。**
5. 死が罪の罰であると、聖書は語ります。誰のかわりに小羊は死にましたか。 **その人の罪**
6. ある人々は神さまの計画を信じないで、自分たちの規則を作りました。神さまを喜ばせるために、何ができると彼らは考えましたか。 **悪いことよりも多くのよい事をする。**
7. 人はいくつの物を盗んだら、完全でなくなることができますか？
0回
8. 神さまよりお金を愛するなら、聖書はそれを何と呼びますか。
罪

9. 少しであれば、嘘をついても大丈夫ですか。 **いいえ**
10. 少しの嘘をついても、罪人になりますか。 **はい**
11. もし気持ちをいらだたせるなら、聖書はそれを何と呼びますか。
罪
12. お父さん、お母さんに口答えをする時、子どもたちが何をしていると聖書は言いますか。 **罪を犯している。**
13. 私たちが頭の中で考えていることは、他の人々にはわかりません。しかし神さまはどれだけのことをご存じですか。 **すべてのこと**
14. もしとてもよくなるように頑張り、悪いことをすることも考えることもしないなら、私たちは天国で生きられるくらい完全になるでしょうか。 **いいえ**

8章 質問と答え

1. 救い主として天国から来てくださったのは誰でしょうか？ **神さま**
2. 救い主となるために、神さまは人間の姿となりました。これはもう神さまでなくなったと言うことですか？ **いいえ**
3. 主は私たちを救うために、私たちと同じようにならなければならないということをご存知でした。では、この世に来られたとき、どんな姿だったでしょうか？ **赤ちゃんになって来られました。**
4. 主は一人の赤ちゃんとして家畜小屋に生まれました。家畜小屋とは羊や赤ちゃん羊の小屋です。では、一番最初にこの赤ちゃんに会いに来たのはどんな人たちでしたか？ **羊飼いたち**
5. この世に赤ちゃんとして生まれてきた神さまは、何と言う名前を付けられましたか？ **イエス**
6. イエスという名前は、神さまこそ救い主、という意味です。つまりイエスさまはどのような人だというのでしょうか？ **救い主**
7. どうしてイエスさまは目が見えない人を見えるようにしたり、歩けない人を歩けるようにしたり、死んだ人を生き返らせたりなさったのでしょうか？ **人々が神さまだとわかるように。**
8. ペテロと友達が見た、水の上を歩いている人は誰だったでしょうか？ **イエスさま**
9. ペテロが風や波に気を取られたとき、彼はどうなったでしょうか？ **沈み始めました。**

10. ペテロは自分の力でもがくことも、またイエスさまに助けを求めることも出来ました。では、ペテロはどちらを選んだのでしょうか？ **救ってくださるように、イエスさまに叫び求めました。**

9章 質問と答え

1. イエスさまはこの地上で、私たちと同じ人間として生きられました。しかし、私たち人間とまったく違うところがありました。ではイエスさまが一度もしたことがなかったこととは、何だったのでしょうか？ **一度も罪を犯されませんでした。**
2. 罪がこの世界に死というものを運んできました。しかし一度も罪を犯したことがないイエスさまは、死ななければならなかったのでしょうか？ **いいえ**
3. イエスさまはこうおっしゃいました。もうすぐ人々がイエスさまを殴ったり、木で出来た十字架に釘で打ちつけて、殺すだろう。しかし死んでから三日目に生き返る、と。今から起こることを、どうしてイエスさまはご存知だったのでしょうか？ **イエスさまは神さまで、すべてのことをご存知です。**
4. 聖書には、イエスさまはまるで祭壇に連れてこられた小羊のようだった、と書かれています。このことから、イエスさまは何と呼ばれるようになったのでしょうか？ **神の小羊と呼ばれました。**
5. 祭壇に連れて来られる小羊は、傷のない完全な小羊でなければなりません。では、イエスさまはどういうふうに完全だったのですか？ **イエスさまは罪を犯したことがありませんでした。**
6. 小羊が連れて来られる祭壇は、特別な死の場所でした。では、イエスさまが連れて行かれて死なれたのは、どんな特別なところだったのでしょうか？ **木の十字架**
7. 私たちのすべての罪がイエスさまの上に移ったとき、イエスさまはどうならなくてはいけなかったのでしょうか？ **イエスさまは死ななければなりませんでした。**
8. 聖書には、イエスさまが私たちの身代わりになって罰を受けてくださった、と書いてあります。では、罰を受けなければならない罪はまだ何か残っていますか？ **一つも残っていません。**
9. どうして私たちは祭壇に小羊を連れて来なくて良くなったのでしょうか？ **イエスさまが最後の小羊でいらっしゃったからです。**

10章 質問と答え

1. 昔、人々は小羊を祭壇に連れて来る必要がありました。では、私たちの小羊とは誰のことでしょうか？ **イエスさま**
2. 祭壇に連れて来る小羊は、傷のない完全な小羊でなければなりませんでした。この世界で、ただ一人だけ一度も罪を犯したことがない人がいました。それは誰でしょうか？ **イエスさま**
3. 小羊は祭壇という、特別な死の場所に連れて来られました。では、イエスさまが連れて行かれた特別な死の場所とはどのようなところだったのでしょうか？ **十字架**
4. 小羊の上に、その人の罪がすべて移ったことを思い出してください。では、イエスさまに移った罪は、一体誰が犯した罪だったのでしょうか？ **私たちの罪**
5. その人の罪の身代わりとなった小羊は死ななければなりませんでした。では誰が私たちの身代わりになって死んでくださったのですか？ **イエスさま**
6. 小羊はその人の身代わりになって殺されました。ではイエスさまは誰の身代わりになって死んでくださったのでしょうか？
私たちの身代わり
7. 死んだ後、イエスさまの体は特別なほら穴に入れられ、その入り口には大きな岩でふたをしました。その洞穴は何と呼ばれるところですか？ **お墓**
8. イエスさまが死んで三日目、どういうことが起こったのでしょうか？
イエスさまはよみがえりました。
9. イエスさまは人々に生き返った姿を見せ、みんなもイエスさまと同じように生き返らせてあげることができるのだ、と教えてくださいました。では、イエスさまは生き返った人々をどこに連れて行ってくださるのでしょうか？ **天国**
10. イエスさまは完全で素晴らしい天国に連れて行くためには、私たちがしなければならぬことがあるとおっしゃいました。それはどのようなことでしょうか？
イエスさまに信頼し、イエスさまを信じる。

11. その時人々がしなければならなかったのは、もう二度と悪いことはしない、という約束でしたか？ **いいえ** イエスさまが私たちの救い主である、と信じることでしたか？ **はい** 悪いことをしても、それよりもたくさん良いことをします、という約束でしたか？ **いいえ**
12. 神さまは、イエスさまが私たちの小羊となって、私たちの罪の身代わりに死んでくださったと信じるなら、誰でも天国に行くことができる、とおっしゃいました。本当にそうでしょうか？ **はい**

「神さまの手紙の意味が分かりましたか？」 答え

1. 神さまはことばだけでこの世界のすべてを造られました。このことから、神さまはどのような方だということが分かりますか？
とても、とても力強いお方です。
2. 神さまだけが、完全な世界を造ることが出来ました。それはなぜでしょうか？ **神は完全なお方です。**
3. ルシファーは神さまに逆らうことを選びました。このことは聖書で何と呼ばれていますか？ **罪**
4. 悪いことをしても、そのまま逃げてしまおうとしても、それは許されないことです。どうしてでしょうか？ **それは公平ではありません。すべての罪は罰せられなければならないのです。**
5. 神さまがサタンとその手下の悪い天使たちのために造られた特別な場所は何と呼ばれるところですか？ **火の池**
6. アダムとエバは神さまの言うことを聞きませんでした。そのことを聖書では何と呼んでいますか？ **罪**
7. この世界に罪が運んできたのは、何でしょうか？ **死**
8. アダムとエバは罪を犯してしまったので完全な者でなくなりました。そして死んだ時にはサタンのいる恐ろしい場所に行かなくてはなりません。この一度死んだ後に起こるもう一つの死のことを、聖書では何と呼んでいますか？ **第二の死**
9. 神さまはいつか、すべての人間を第二の死から救う一人の特別な人を送ってくださると約束されました。この人は何と呼ばれているのでしょうか？ **救い主**
10. どうして人間は完全にならなければ天国に行けないのでしょうか？ **完全な人だけが、完全な神と過ごすことができるから。**

11. 神さまはアダムとエバが罪を犯したのに、それを知らない振り、まるでなかったような振りをすることができるでしょうか？ **いいえ**
12. 神さまは人間に罰を与えずにすむ方法を人々に教えました。その時連れて来なさいと言われた動物は何でしたか？ **小羊**
13. その人が小羊の頭に手を置くと、その人の罪はどうなるのですか？ **その人の罪が、小羊の上に移りました。**
14. 小羊は誰の身代わりになって死んだのですか？ **その人の身代わり**
15. 何も悪いことをしなかったのに、どうして小羊は死んだのですか？ **その人の罪を背負ったから。**
16. もし神さまを信じるなら、その人は死んだ後天国に行くことが出来ます。神さまは完全な天国にすむことが出来るように、その人をどういうふうに変えてくださるのですか？ **完全にしてくださいます。**
17. もし私たちが良い人になろうとしたり、悪いことを一つも考えたりしないようにがんばったら、私たちは天国に行くことが出来るような完全な人になれるでしょうか？ **いいえ**
18. 誰が救い主としてこの地上に来てくださいましたか？ **神さま、イエスさま**
19. イエスさまは一度も罪を犯しませんでした。イエスさまは死ななければなりませんでしたか？ **いいえ**
20. 聖書には、イエスさまは祭壇に連れて来られた小羊のようだと書いてあります。そういう意味のあるイエスさまの呼び名は何でしょうか？ **イエスさまは神の小羊と呼ばれました。**
21. 人間のすべての罪が小羊の上に移されたか、思い出してください。イエスさまの上に置かれたのは、誰の罪ですか？ **私たちの罪**
22. 小羊は、その人の身代わりになって殺されました。では、イエスさまは誰の身代わりになって死なれたのでしょうか？ **私たちの身代わり**
23. イエスさまは死んだ人々を生き返らせて天国に連れて行ってくださる、と言われました。完全な天国に住むために、私たちは何をしなくてはならないのでしょうか？ **イエスさまに信頼する、イエスさまを信じる**

「神の手紙を信じますか？」 答え

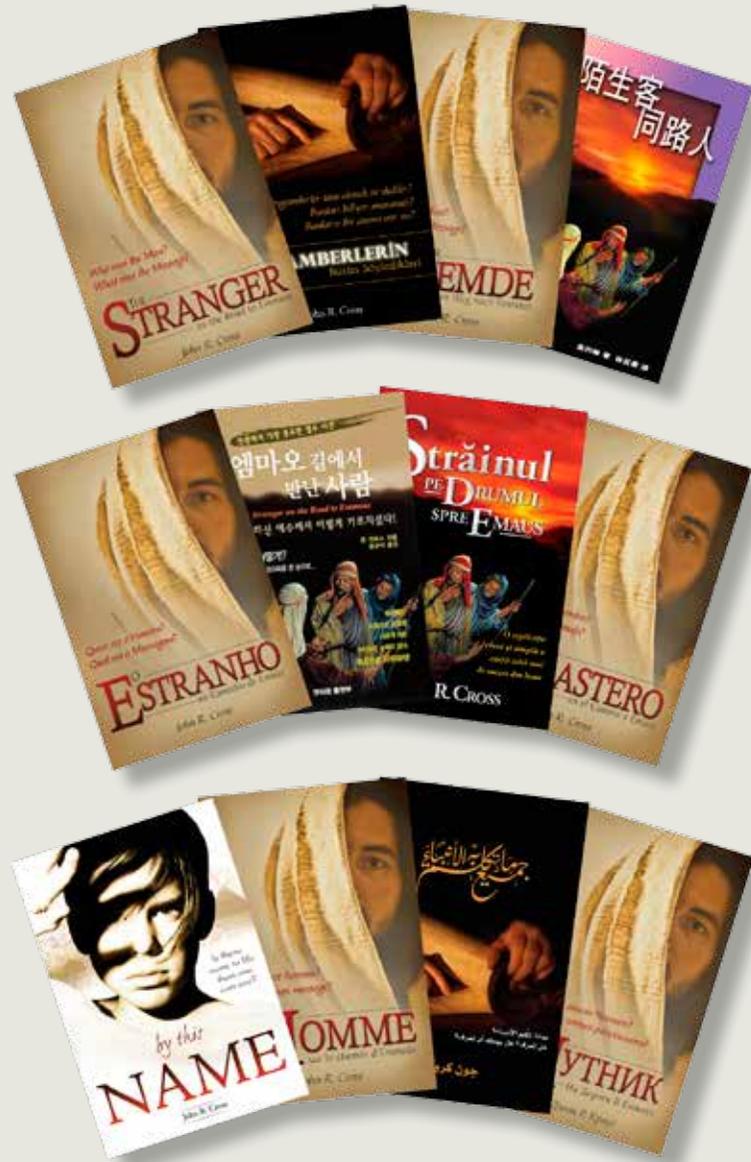
- ◆ イエスさまはどなたであると、あなたは信じますか。ただのよい人でしょうか、それともそれ以上のお方でしょうか。
イエスさまは神です
 - ◆ あなたはどうでしょう。よい人なので天国へ行けると信じますか、それとも罪人であると信じますか。 **私は罪人です。**
 - ◆ 神はあなたの罪を無視してくださると信じますか、それともあなたの罪は罰せられなければならないと信じますか。
罰せられなければなりません。
 - ◆ どなたが、あなたの代わりに罰せられましたか。 **イエスさま**
 - ◆ どなたがあなたの小羊であると信じますか。 **イエスさま**
 - ◆ イエスさまはあなたを愛して、あなたの罪を背負ってくださったことを信じますか。 **はい**
 - ◆ イエスさまは死なれた後、よみがえってくださり、今永遠に生きておられます。あなたはそのことを信じますか。 **はい**8. もう少しでおぼれそうだというとき、ジョンはおじいさんに「これから絶対に良い子になるから助けて」と約束しましたか？
いいえ
9. 神さまがアダムとエバに救ってくださるという計画を教えてください。アダムとエバはもう絶対に悪いことをしないという約束をしましたか？ **いいえ**
10. ジョンのおじいさんは「私を信じなさい」と言いましたか？ **はい**
11. 神さまは人間たちに「私を信じなさい。そうすればあなたが死んだとき、もう一度完全な者に造り変えてあげよう」とおっしゃいましたか？ **はい**
12. なぜ人間は、天国に住むために、完全な人に作り変えられなければならないのでしょうか？
完全な人だけが、完全な神と過ごせるから。

注釈

1. 神がどのように聖書を私たちのために書いたかという点を強調するよりも簡潔にするため「コミュニケーションの手段」という意味で、「手紙」という語を用いました。
2. 神は「永遠」という意味です。
3. 天使や神がただの「力」ではなく「人格を持って生きている存在」であるという意味です。
4. 「完全」という語は、通常の意味とさらにそれに加えて神が罪のない聖なる義のお方という意味との両方で使っています。
5. 「永遠に」という意味で「二度と戻って来ない」としました。サタンには神の前でクリスチャンたちを非難するために天国に近づくことができても、サタンに勝ち目はありません。
6. サタンとその天使たちがこの場所に今はないと聖書にははっきりと記されていますが、いずれそこに監禁されることになります。(黙示録 20:10) この本はこれらの事実を説明するのに十分な分量がありません。私たちは詳細を付け加えることで読者に余計な疑問を生じさせ、この本の目的から外れてしまうのではと考えました。
7. ここでは神の性質をすべて手に入れるという意味で「神のようになる」という解釈もできますが、また「善悪の見わけがつく」という点に限って「神のように」なるという解釈もできます。サタンの「神のようになれる」という誘惑が特定の意味を持っていたのか、あるいはサタンのうそは一点（善悪の見分けがつくようになる）だけに限って神のようになれるというものであったのか、聖書には説明されていません。「神のように善悪の見わけがつくようになる」ということこの概念を説明しようと試みるのは話と関係のない多くの説明を必要とするので、サタンが意図していたことについては限定しないでおきます。いずれにせよ、サタンが言っていたことはうそでした。
8. 「死んだその瞬間」とは、「義認」と言われる聖書の教えの限定的な側面を意味します。「義認」の意味については、もっと多くの説

明が必要になります。私たちが主を救い主として信頼するのであれば、神は私たちに即座に義を授けてくださり、今この場所においてさえ私たちのことを完全とみなしてくださいませ。なぜまだ「悪い子」であるにもかかわらず神が完全な者とみなしてくださいませのかということをお子様が理解するのは難しいので、教義の「限定的な」側面を教えるのにとどめました。

9. 神とアダムとエバとの間の会話のほとんどは聖書の中のものですが、しかしながら、聖書に書かれている事実を「読み返して」とみると、ある状況においては一般の人々にも適用され得るということは明確です。たとえば、他の旧約聖書の登場人物の例で言うと、「アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。」(創世記 15:6 新改訳)とあります。「信仰」あるいは「信頼」が神の前に「義」と認められる唯一のものであると聖書にははっきり記されているので、アダムとエバの話の中においても他の聖書の人物を登場させてややこしくさせなくともこれらの真実を表記してもよいと判断しました。
10. 「ザ・ラム」この本は子供向けに書いたものなので、なるべくわかりやすい用語を用いるよう心がけた。いかに子供にわかりやすく犠牲の箇所を表現するかについてはかなり悩んだ。聖書を本格的に学んだ方には、この本は聖書の書かれた時代の人々が何を考えどのように感じていたかを理解するために書かれたのだということをご了承いただきたい。旧約聖書を信仰する人々の身になって考えてみるのであれば、神が十字架ですべての罪を取り除くということは理解できないであろう。罪とは祭壇で少しずつ取り除かれていくものと考えられていた。しかし聖書にははっきりとこう書かれている「雄牛とやぎの血では、実際に罪を取り除けない…」(ヘブル 10:4)。動物のいけにえはあくまでも将来起こる出来事の象徴にすぎないので、私は「まるで~のように」という語を用いて罪は動物の犠牲では取り除かれれないということを強調した。罪は「まるで取り除かれたように」見えただけである。実際に罪が取り除かれたのは十字架の上であった。「まるで~のように」という語を各文で用いることができなかつたので、実際に起こった出来事を正確に感じ取るためにはパラグラフ全体を読んでいただきたい。



各種の言語で入手可能です。オーディオブックや別冊のワークブックもあります。詳しい情報あるいは電話、Eメール、ネットでのお申込方法は次のページをご覧ください。

GOODSEED® は、この本の内容をさまざまな言語でわかりやすくみなさんにお伝えするために活動している非営利団体です。現在進行中のプロジェクトまたは翻訳書籍に関して興味をお持ちの方はぜひご連絡ください。

GOODSEED® International
P. O. Box 3704
Olds, Alberta T4H 1P5
CANADA
Bus: 403 556 9955
Fax: 403 556 9950
info@goodseed.com

GoodSeed Australia	1800 89 7333 info.au@goodseed.com
GoodSeed Canada	800 442 7333 info.ca@goodseed.com
BonneSemence Canada Service en français	888 314 3623 info.qc@goodseed.com
GoodSeed Europe	info.eu@goodseed.com
GoodSeed UK	0800 073 6340 info.uk@goodseed.com
GoodSeed USA	888 654 7333 info.us@goodseed.com



'GoodSeed' and the Book / Leaf design mark
are trademarks of GOODSEED International.

子供向けに書かれた、 誰でも楽しめる、 時を越えたメッセージ。

昔々とても大切な日に、ある一匹の子羊についての素晴らしいお話が語られました。このお話は聞く人々を聖書の創世記から十字架までの旅へと誘いました。そして聖書の中心となるメッセージについて説明し、子羊の本当の意味を解き明かしました。この本の中では、そのお話がもう一度語られています…これは、すべての人が聞くべき、忘れることのできないメッセージです。

作家のジョンR.クロスはカナダ出身、アーティストのイアン・マスティンは、オーストラリア出身。二人は聖書のメッセージをやさしく・わかりやすく伝えるため、たくさんのボランティア達と共に多くの作品を手がけている。二人とも、家族は妻と子供達がいる。

対象年齢・5歳以上


goodseed
see · hear · understand
www.goodseed.com



The Lamb, Japanese